

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ 第一学習社『標準 現代の国語』）

教科 国語 の目標：「言葉」を根拠として作品を読み取り、自分の意見を持ち、適切に表現する能力を身につけさせる。

- 【知識及び技能】読解に必要な語句の意味や表現技巧等を理解している。
- 【思考力、判断力、表現力等】本文を根拠として考え、自分の意見をもった上で、適切に表現している。
- 【学びに向かう力、人間性等】進んで本文を読み、課題に取り組もうとしている。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
読解に必要な語句の意味や表現技巧等を理解している。	本文を根拠として考え、自分の意見をもった上で、適切に表現している。	進んで本文を読み、課題に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読						
1 学 期	単元 世界を広げる 【知識及び技能】 接続詞の用法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文を根拠に解釈できている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで本文を読もうとしている。	教材：「なぜ本を読むのか」等 ・筆者の主張を捉え、自分に照らし合わせて考えを深める。 ・言い換え表現についての理解を深める。	○	○	○	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ワークシート、定期考査 【態度】：ワークシート、 課題に取り組む姿勢		○	○	○	6
	単元 世界を広げる 【知識及び技能】 接続詞の用法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文を根拠に解釈できている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで本文を読もうとしている。	教材：「世界は謎に満ちている」等 ・筆者の主張を捉え、自分に照らし合わせて考えを深める。 ・「世界は謎に満ちている」ことを説明するための工夫を、文章の構成や取り上げられた事例から把握する。		○	○	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ワークシート、定期考査 【態度】：ワークシート、 課題に取り組む姿勢		○	○	○	6
	定期考査							○	○		1
	単元 言葉が開く世界 【知識及び技能】 接続詞の用法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文を根拠に解釈できている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで本文を読もうとしている。	教材：「言葉遣いとアイデンティティ」等 ・筆者の主張を捉え、自分に照らし合わせて考えを深める。 ・人間関係を調整する「言葉」と「言葉遣い」の役割について、具体的事例とともに理解を深める。		○		【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ワークシート、定期考査 【態度】：ワークシート、 課題に取り組む姿勢		○	○	○	8
	単元 言葉が開く世界 【知識及び技能】 接続詞の用法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文を根拠に解釈できている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで本文を読もうとしている。	教材：「言語としてのピクトグラム」等 ・筆者の主張を捉え、自分に照らし合わせて考えを深める。 ・ピクトグラムが持つ「言語」としての機能を理解し、言語表現の多様性について考えを深める。		○		【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ワークシート、定期考査 【態度】：ワークシート、 課題に取り組む姿勢		○	○	○	8
	定期考査							○	○		1
	単元 人間と文化 【知識及び技能】 接続詞の用法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文を根拠に解釈できている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで本文を読もうとしている。	教材：「水の東西」等 ・筆者の主張を捉え、自分に照らし合わせて考えを深める。 ・東西の対比関係を用いながら、日本の文化にみられる特徴について論じる叙述の方法を把握する。				【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ワークシート、定期考査 【態度】：ワークシート、 課題に取り組む姿勢					8
	単元 人間と文化 【知識及び技能】 接続詞の用法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文を根拠に解釈できている。	教材：「ステレオタイプの落とし穴」等 ・筆者の主張を捉え、自分に照らし合わせて考えを深める。 ・ステレオタイプとは何かを説明するための論展開を把握し、筆者の主張について理解を深める。				【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ワークシート、定期考査 【態度】：ワークシート、 課題に取り組む姿勢					6

[illegible]

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教 科： 国語 科 目： 言語文化 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ 数研出版「新編 言語文化」 ）

教科 国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる

【思考力、判断力、表現力等】社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす

【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ価値への認識を深め、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手として国語を尊重しその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数		
			話・聞	書	読	読							
1 学 期	A 単元 古文に親しもう 【知識及び技能】 歴史的仮名遣いを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの つながりを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで本文の語句や文法を調べ る。	教材「いろは歌」 「竹取物語」ほか有名作品の冒頭 文 ・歴史的仮名遣いを理解する。 ・平安・鎌倉時代の文化を理解す る。 ・文章内の登場人物の状況を理解 し、その心情を味わう。			○	○	【知識及び技能】 歴史的仮名遣いを理解して現代仮名づかいに改める ことができる。（演習、ノート） 【思考力、判断力、表現力等】 歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの共通点、相違点に ついて説明できる。（演習、ノート） 【学びに向かう力、人間性等】 進んで本文の語句や文法を調べている。（演習、 ノート）		○	○	○	5	
	B 単元 古文の世界を楽しむ 【知識及び技能】 基本的な古語の意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の心情・状況を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 古文の時代の感覚と現代の感覚と のつながりを考える。	教材『宇治拾遺物語』『児のそら 寝』 ・基本的な語句の意味を理解す る。 ・現代語訳を参考に文章のあらす じを理解し、登場人物の心情を理 解する。		○		○	○	【知識及び技能】 基本的な語句の意味を答えることができる（演習、 ノート） 【思考力、判断力、表現力等】 説話のあらすじを把握し、説明できる。（演習、 ノート） 【学びに向かう力、人間性等】 進んで本文の語句や文法を調べている。（演習、 ノート）		○	○	○	8
	定期考査								○	○		1	
	C 単元 昔と変わらない人の心 【知識及び技能】 古語の意味や基本的文法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の心情・状況を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 古文の時代の感覚と現代の感覚と のつながりを考える。	教材『伊勢物語』『芥川』 ・基本的な語句の意味を理解する。 ・平安時代の文化を踏まえ、当時 の恋愛観を理解する。 ・文章内の登場人物の心情を理解 し、現代との共通点・相違点につ いて考える。			○		○	【知識及び技能】 重要語句の意味や基本的な文法を理解している。 （演習、ノート） 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の心情・状況を把握し、説明できる。（演 習、ノート） 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の心情が、現代の感覚とどのように共通 し、または異なっているか考えている。（演習、 ノート）		○	○	○	8
	D 単元 昔と変わらない人の心 【知識及び技能】 古語の意味や基本的文法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の心情・状況を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 古文の時代の感覚と現代の感覚と のつながりを考える。	教材『伊勢物語』『筒井筒』ほか ・基本的な語句の意味を理解する。 ・平安時代の文化を踏まえ、当時 の恋愛観を理解する。 ・文章内の登場人物の心情を理解 し、現代との共通点・相違点につ いて考える。		○		○	○	【知識及び技能】 重要語句の意味や基本的な文法を理解している。 （演習、ノート） 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の心情・状況を把握し、説明できる。（演 習、ノート） 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の心情が、現代の感覚とどのように共通 し、または異なっているか考えている。（演習、 ノート）		○	○	○	10
定期考査									○	○		1	
2 学 期	E 単元 受け継がれる古典 【知識及び技能】 本文の意味を理解し、内容を把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の心情を、本文を根拠に説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで本文を読み、古文とのつな がりについて考える。	教材『羅生門』 ・近代小説の名作に親しみ、場面 効果や登場人物の心情の変化等につ いて表現に即して読み味わう。 ・『宇治拾遺物語』『今昔物語』 との比較を通して、作品の特徴に ついて考察する。			○	○	○	【知識及び技能】 重要語句の意味や基本的な文法を理解している。 （演習、ノート） 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の心情・状況を、本文を根拠にして説明で きる。（演習、ノート） 【学びに向かう力、人間性等】 物語の設定や構成が、古文とどのように共通し、ま たは異なっているか考えている。（演習、ノート）		○	○	○	10
	定期考査								○	○		1	
	F 単元 語感を磨く 【知識及び技能】 本文の意味を理解し、内容を把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の心情を、本文を根拠に説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで本文を読み、文学、言語の 推移について考える。	教材『側転と三夏』 ・現代小説に親しみ、場面効果や 登場人物の心情の変化等について 表現に即して読み味わう。 ・古文や近代文学との比較を通し て、言語と文学の変化について考 察する。		○		○	○	【知識及び技能】 重要語句の意味や基本的な心情・展開を理解してい る。（演習、ノート） 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の心情・状況を、本文を根拠にして説明で きる。（演習、ノート） 【学びに向かう力、人間性等】 古文や近代文学の表現と比べてどのように変化して いるか考えている。（演習、ノート）		○	○	○	10
定期考査									○	○		1	
G 単元 故事と成語 【知識及び技能】 漢文の基本的な文法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな故事成語が意味する教 訓を説明する。	教材『孟子』『戦国策』 ・現代でも使われるさまざまな故 事成語の由来を知り、その意味す るところを理解する。 ・古文や近代文学との比較を通し て、漢文や成語の意義について理 解する。			○		○	【知識及び技能】 漢文の基本的な文法を理解し、演習問題に答えられ る。（演習、ノート） 【思考力、判断力、表現力等】 故事成語の意味するところを説明できる（演習、 ノート）					7	

	訓について理解し、説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで本文を読む。	る。漢文の特徴について理解する。				【学びに向かう力、人間性等】 進んで本文を読み、演習問題に答えている。（演習、ノート）					
3 学 期	H 単元 漢詩を味わう 【知識及び技能】 漢文の応用的な文法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 漢詩に現れた作者の心情を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで本文を読む。	教材『唐詩選』ほか ・現代でも使われるさまざまな故 事成語の由来を知り、その意味する ところを理解する。 ・古文や近代文学との比較を通し て、漢文の特徴について理解する。	○	○	○	【知識及び技能】 漢文の基本的な文法を理解し、演習問題に答えられる。（演習、ノート） 【思考力、判断力、表現力等】 故事成語の意味するところを説明できる（演習、ノート） 【学びに向かう力、人間性等】 進んで本文を読み、演習問題に答えている。（演習、ノート）				7	
	定期考査								○	○	1 合計 70

年間授業計画 様式例

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科

国語

科目 文学国語

教科： 国語

科目： 文学国語

単位数：

単位 2

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書： （大修館書店 『文学国語』）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】

生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】

生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【主体的に学習に取り組む態度】

言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになる。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	聞書読					
1 学 期	【第1部】 小説（一） 現代への視点 旅する本 ・登場人物の設定や心情の変化を的確に読み取る。 【知識及び技能】 作品の構成や展開、擬人法といった表現の特徴について理解を深め、その効果を本文に即して的確に説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の構成や展開を理解し、各登場人物の置かれた状況や心情の変化について、本との出会いを中心に、本文に即して的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 登場人物の描かれ方に着目しながら小説を読むことをとおして、本と人間との関わりについて考えたり、多様なジャンルの読書に対する意欲を持とうとしている。	・作者についての情報を確認する。 ・初読の感想や、「本」と人間との関係について自分の考えを述べる。 ・「本」についての情報を確認する。 ・「本」の現在の姿を確認する。 ・「男」の切迫した状況に対する焦燥や絶望感を読み取る。 ・「男の子」が手にした「本」の姿を確認する。 ・「女」が手にした「本」の姿を確認する。 ・「女」の心情は「本」を読むことによってどのように変化化すると思うか考察する。	○	○	○	○	○	○	8
	【第1部】 小説（二） 語りの世界 山月記 ・李徴の心情や境遇を理解する。 【知識及び技能】 日常生活でなじみのない漢語を書き出し、注や辞書を参考にして、意味や使い方をノートやワークシートにまとめている。 【思考力、判断力、表現力等】 場面を展開を理解し、自ら段落分けをするなど、作品の構成を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 小説を読んで、人間、社会、自然などについて考え、自分自身の考えを他人の考えと比較しながら、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	・「山月記」の概要を把握する。 ・李徴の性格を記述内容からまとめる。 ・発狂するに至った経緯を記述内容からまとめる。	○	○	○	○	○	○	9
	定期考査		○	○		○	○		1
	【第1部】 小説（二） 語りの世界 山月記 ・李徴の心情や境遇を理解する。 【知識及び技能】 日常生活でなじみのない漢語を書き出し、注や辞書を参考にして、意味や使い方をノートやワークシートにまとめている。 【思考力、判断力、表現力等】 李徴が虎になった理由を、李徴の独白から、変化しつつあることを読み取り、ノートなどに整理している。 「臆病な自尊心」「尊大な羞恥心」とはどのようなものか文脈から読み取り、作品の主題を理解できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 小説を読んで、人間、社会、自然などについて考え、自分自身の考えを他人の考えと比較しながら、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	・「山月記」の概要を把握する。 ・異類の身で哀憐と再会した李徴の複雑な心情を読み取る。 ・李徴と哀憐の性格や現在の状況が対比的に描かれていることに気づく。 ・虎でありながら人間の心をもつという特殊な状況に置かれた李徴の苦しみを理解する。 ・哀憐が李徴の詩に「欠けたところ」があると感じた理由について考える。 ・「臆病な自尊心」「尊大な羞恥心」を中心とする李徴の性情について考え、李徴が人と交わらなかった理由、切確琢磨しなかった理由などについて理解する。 ・李徴の悲しみや苦しみ、そして、それをおかってもならない切なさを理解する。 ・哀憐への依頼内容を読み取り、李徴が自己をどう認識していったかについて考える。 ・李徴が自嘲する心情を心情を理解する。	○	○	○	○	○	○	8
	定期考査		○	○		○	○		1

[illegible]

[illegible]

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 地理歴史科 科目 地理総合

教 科： 地理歴史科 科 目： 地理総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年

教科担当者：

使用教科書：（『高校生の地理総合』（帝国出版））

教科 地理歴史科 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】地理・地誌に関する基礎的な用語を理解している。
- 【思考力、判断力、表現力等】地理的な事象と人々の生活を比較し、関連付けながら学習している。
- 【学びに向かう力、人間性等】地理や地誌に興味・関心をもち、積極的に課題に取り組むとともに授業に参加している。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理・地誌に関する基礎的な用語を理解している	地理的な事象と人々の生活を比較し、関連付けながら学習している。	地理や地誌に興味・関心をもち、積極的に課題に取り組むとともに授業に参加している。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 地球儀と地図 【知識及び技能】 ・地図に関する基礎的な用語を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地図に関する資料を比較、対照し、その特徴を適切にまとめている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に授業に参加している。	「地球上の位置と地上の現象」 「緯度の違いと時差」 「球体と平面の世界」	【知識・技能】 ・小テスト ・定期考査 【思考・判断・表現】 ・プリントの記述内容 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出物 ・身だしなみ	○	○	○	8
	A 単元 地図と地理情報システム 【知識及び技能】 ・GISに関する基礎的な用語を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・GISに関する資料を比較、対照し、その特徴を適切にまとめている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に授業に参加している。	「地図の種類」 「地理情報システムの利用」	【知識・技能】 ・小テスト ・定期考査 【思考・判断・表現】 ・プリントの記述内容 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出物 ・身だしなみ	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
	A 単元 現代世界の国家と領域 【知識及び技能】 ・国家領域に関する基礎的な用語を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国家領域に関する資料を比較、対照し、その特徴を適切にまとめている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に授業に参加している。	「国家領域と国境」 「地図から見る日本の位置と領域」	【知識・技能】 ・小テスト ・定期考査 【思考・判断・表現】 ・プリントの記述内容 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出物 ・身だしなみ	○	○	○	4
	A 単元 世界の地形と人々の生活 【知識及び技能】 ・地形と人々の生活に関する基礎的な用語を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地形と人々の生活に関する資料を比較、対照し、その特徴を適切にまとめている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に授業に参加している。	「生活と地形の関わり」 「河川がつくる地形と人々の生活」 「海岸の地形と人々の生活」 「氷河地形・カルスト地形・乾燥地形と人々の生活」	【知識・技能】 ・小テスト ・定期考査 【思考・判断・表現】 ・プリントの記述内容 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出物 ・身だしなみ	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	A 単元 世界の気候と人々の生活 【知識及び技能】 ・気候と人々の生活に関する基礎的な用語を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・気候と人々の生活に関する資料を比較、対照し、その特徴を適切にまとめている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に授業に参加している。	「生活と気候の関わり」 「熱帯の気候と人々の生活」 「乾燥帯の気候と人々の生活」 「温帯の気候と人々の生活」 「亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活」	【知識・技能】 ・小テスト ・定期考査 【思考・判断・表現】 ・プリントの記述内容 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出物 ・身だしなみ	○	○	○	15
	A 単元 地震・津波や火山活動による災害と防災 【知識及び技能】 ・災害と防災に関する基礎的な用語を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・災害と防災に関する資料を比較、対照し、その特徴を適切にまとめている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に授業に参加している。	「地震・津波のしくみと被害」 「地震・津波災害と地域の取り組み」 「火山の恵みと噴火による被害」 「火山災害と地域の取り組み」 「地震・津波や火山活動への対策と共生の道」	【知識・技能】 ・小テスト ・定期考査 【思考・判断・表現】 ・プリントの記述内容 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出物 ・身だしなみ	○	○	○	14
	定期考査						1
3 学 期	「発表」	パワーポイントやワードを活用してグループごとに発表 テーマは「地球的課題について」	【知識・技能】 ・小テスト ・発表内容 【思考・判断・表現】 ・発表内容 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出物 ・発表態度	○	○	○	14
							合計 70

高等学校 令和7年度（1学年用）

教科 地理歴史科

科目 歴史総合

教科： 地理歴史科

科目： 歴史総合

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年

教科担当者：

使用教科書： （『歴史総合』実教出版）

教科 地理歴史科

の目標：

【知識及び技能】近現代史における基礎的な用語とともに日本と世界とのつながりを理解している。

【思考力、判断力、表現力等】日本史と世界史を比較、相互に関連付けながら近現代の日本と世界の関係性について考察し表現している。

【学びに向かう力、人間性等】近現代における、日本と世界の動向に興味・関心をもち、積極的に課題に取り組むとともに授業に参加して

科目 歴史総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代史における基礎的な用語とともに日本と世界とのつながりを理解することができる。	日本史と世界史を比較、相互に関連付けながら近現代の日本と世界の関係性について考察し、表現することができる。	近現代における、日本と世界の動向に興味・関心をもち、積極的に課題に取り組むとともに授業に参加している。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元名 近代化への胎動 【知識】 ・近代化への胎動に関する基本的事項が理解できる。 【思考力、判断力、表現力】 ・近代化への胎動に関する資料から有用な情報を選択して活用し、自分の考えとしてまとめていることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に授業に参加している。	「歴史を学ぶための基礎知識」 「江戸時代の日本と東アジア秩序の変動」	【知識・技能】 ・定期考査 【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出物・身だしなみ	○	○	○	4
	単元名 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」 【知識】 ・欧米の市民革命に関する基本的事項が理解できる。 【思考力、判断力、表現力】 ・欧米の信託革命に関する資料から有用な情報を選択して活用し、自分の考えとしてまとめていることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に授業に参加している。	「イギリス産業革命とアメリカ独立戦争」 「フランス革命とウィーン体制」 「アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立」 「オスマン帝国の衰退とロシア」 「アヘン戦争の衝撃と開国」	【知識・技能】 ・定期考査 【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出物・身だしなみ	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	単元名 欧米諸国と日本の国民国家形成 【知識】 ・国民国家形成に関する基本的事項が理解できる。 【思考力、判断力、表現力】 ・国民国家形成に関する資料から有用な情報を選択して活用し、自分の考えとしてまとめていることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に授業に参加している。	「イギリス・フランスの繁栄とイタリヤ ・ドイツの統一」 「明治政府の諸改革」	【知識・技能】 ・定期考査 【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出物・身だしなみ	○	○	○	6
	単元名 帝国主義の時代 【知識】 ・帝国主義に関する基本的事項が理解できる。 【思考力、判断力、表現力】 ・帝国主義に関する資料から有用な情報を選択して活用し、自分の考えとしてまとめていることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に授業に参加している。	「朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争と日露戦争」	【知識・技能】 ・定期考査 【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出物・身だしなみ	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学 期	単元名 第一次世界大戦と大衆社会 【知識】 ・第一次世界大戦に関する基本的事項が理解できる。 【思考力、判断力、表現力】 ・第一次世界大戦に関する資料から有用な情報を選択して活用し、自分の考えとしてまとめていることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に授業に参加している。	「第一次世界大戦」 「ヴェルサイユ体制とワシントン体制」 「第一次世界大戦後の欧米諸国」	【知識・技能】 ・定期考査 【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出物・身だしなみ	○	○	○	15
	単元名 経済危機と第二次世界大戦 【知識】 ・第二次世界大戦に関する基本的事項が理解できる。 【思考力、判断力、表現力】 ・第二次世界大戦に関する資料から有用な情報を選択して活用し、自分の考えとしてまとめていることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に授業に参加している。	「ファシズムの時代」 「満州事変と軍部の台頭」 「第二次世界大戦」 「国際連合の成立と冷戦」	【知識・技能】 ・定期考査 【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出物・身だしなみ	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
3 学 期	単元名 冷戦と脱植民地化 【知識】 ・冷戦に関する基本的事項が理解できる。 【思考力、判断力、表現力】 ・冷戦に関する資料から有用な情報を選択して活用し、自分の考えとしてまとめていることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に授業に参加している。	「植民地の独立」 「米ソ両陣営の動揺」 「日本の国際社会復帰と高度経済成長」	【知識・技能】 ・定期考査 【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出物・身だしなみ	○	○	○	6
	単元名 多極化する世界 【知識】 ・現代史に関する基本的事項が理解できる。 【思考力、判断力、表現力】 ・現代史に関する資料から有用な情報を選択して活用し、自分の考えとしてまとめていることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に授業に参加している。	「石油危機と世界経済」 「緊張緩和から冷戦の終結へ」 「日本の経済大国化」	【知識・技能】 ・定期考査 【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出物・身だしなみ	○	○	○	6
	定期考査						1

						○	○	合計
								70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 公民科 科目 公共

教科：公民科 科目：公共 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（『高等学校 新公共』（第一学習社））

教科 公民科 の目標：

- 【知識及び技能】必要な資料を正確に読み取り、現代社会の諸課題について理解する。
- 【思考力、判断力、表現力等】現代社会の諸課題とその解決について事実をもとに多面的・多角的に考察し、表現する。
- 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会を形成するために、公民として現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解している。	現代の諸課題について事実をもとに知識・技能を活用して多面的・多角的に考察し、表現することができる。	現代社会の諸課題に関心を持ち、主体的に議論や学習活動に参加している。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 公共的な空間をつくる私たち 【知識及び技能】 社会に参画する主体として必要な基本的な知識や概念を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 青年期における自己のあり方や社会とのかわり方について考察し、自分の考えをまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、課題に対して自分の考えを持とうとしている。	「青年期を生きる私たち」 「個性の形成と自主・自立」 「日本人の伝統意識」	【知識・技能】 青年期の特徴や個性の成り立ち、日本文化とその背景にある思想について理解している。 【思考・判断・表現】 知識・技能を生かして、様々な社会集団の中で個人としてどのようにあるべきかを考え、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動に積極的に参加している。	○	○	○	7
	B 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 【知識及び技能】 公共的な空間における基本的原理を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 先人たちの取り組みを踏まえて、公共的な空間を形成するために必要な基本的原理について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、課題に対して自分の考えを持とうとしている。	「人間の尊厳と平等、個人の尊重」 「民主主義と法の支配」 「自由・権利と責任・義務」 「日本国憲法に生きる基本的原理」	【知識・技能】 平等や自由などの理念や立憲主義などの社会のあり方を決める考え方について理解している。 【思考・判断・表現】 知識・技能を生かして、社会を維持・発展させていくために必要な原理を考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動に積極的に参加している。	○	○	○	5
	定期考查			○	○	○	1
	C 単元 法的な主体となる私たち 【知識及び技能】 法や規範に基づく紛争解決の手段とその意義について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 身のまわりの諸問題について知識・技能を活用して解決のしかたを考え、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、課題に対して自分の考えを持とうとしている。	「法とは何か」 「憲法と基本的人権」	【知識・技能】 法の意義と役割について理解している。 【思考・判断・表現】 知識・技能を生かして、身の回りの諸課題の解決のしかたを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動に積極的に参加している。	○	○	○	12
	定期考查			○	○	○	1
2 学 期	C 単元 法的な主体となる私たち 【知識及び技能】 法や規範に基づく紛争解決の手段とその意義について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 身のまわりの諸問題について知識・技能を活用して解決のしかたを考え、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、課題に対して自分の考えを持とうとしている。	「契約と消費者の権利・責任」 「裁判所と司法」 「司法参加の意義」	【知識・技能】 法の意義と役割について理解している。 【思考・判断・表現】 知識・技能を生かして、身の回りの諸課題の解決のしかたを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動に積極的に参加している。	○	○	○	6
	定期考查			○	○	○	1

期	D 単元 政治的な主体となる私たち	「私たちと選挙」 「選挙の現状と課題」 「政治参加と公正な世論形成」 「国会と立法」 「内閣と行政」 「地方自治と住民福祉」 「日本の安全保障と防衛」	【知識・技能】 民主政治のあり方や各国の政治体制について理解している。 【思考・判断・表現】 主権者として民主政治にどのように参画していくかについて考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動に積極的に参加している。	○	○	○	24
	定期考査			○	○	○	1
	E 単元 経済的な主体となる私たち	「経済とは何か」 「市場経済の機能と限界」 「社会の変化と職業観」 「労働環境と課題」	【知識・技能】 市場経済のしくみや職業生活について理解している。 【思考・判断・表現】 知識・技能を生かして、経済社会の課題とその解決について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動に積極的に参加している。	○	○	○	8
3 学 期	F 単元 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	「排出権取引を考える」 「ベストミックスを考える」 「ゲノム編集を考える」 「インターネットによる投票を考える」 「フェアトレードを考える」	【知識・技能】 現代社会が抱える諸課題について理解している。 【思考・判断・表現】 現代社会の諸課題について、これまでの学習を生かして、その背景から解決策までを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動に積極的に参加している。	○	○	○	3
	定期考査			○	○	○	1
							合計 70

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	態度	配当 時数
1 学 期	単元名…数と式 【知識】:不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めることができる。 【思考】:問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 【態度】:粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しよう และสามารถทำได้。 定期考查	・ 整式の加法・減法・乗法・展開公式 ・ 因数分解 ・ 実数 ・ 根号を含む式の計算 ・ 1次不等式 ・ 連立不等式	【知識】: 定期考查から判断 【思考】: 提出物から判断 【態度】: 授業への参加態度から判断	○	○	○	42
	定期考查			○	○		
2 学 期	単元名…2次関数 【知識】:二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めることができる。 【思考】:二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えることができる。 【態度】:粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しよう และสามารถทำได้。 定期考查	・ $y=ax^2$のグラフ ・ $y=ax^2+q$のグラフ ・ $y=a(x-p)^2$のグラフ ・ $y=a(x-p)^2+q$のグラフ ・ 平方完成 ・ 2次関数の最大・最小 ・ 2次関数の決定 ・ 2次方程式 ・ 2次不等式	【知識】: 定期考查から判断 【思考】: 提出物から判断 【態度】: 授業への参加態度から判断	○	○	○	42
	定期考查			○	○		
3 学 期	単元名…図形と計量 【知識】:正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 【思考】:図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えることができる。 【態度】:粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しよう และสามารถทำได้。 単元名…集合と命題 【知識】:集合と命題に関する基本的な概念を理解することができる。 【思考】:集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明することができる。 【態度】:粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しよう และสามารถทำได้。 単元名…データの分析 【知識】:コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、基本的な統計量を求めたりすることができる。 【思考】:目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行うことができる。 【態度】:粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しよう และสามารถทำได้。 定期考查	・ 鋭角の三角比 ・ 三角比の利用 ・ 三角比の表 ・ 三角比の相互関係 ・ 三角比の拡張 ・ 正弦定理・余弦定理 ・ 三角形の面積	【知識】: 定期考查から判断 【思考】: 提出物から判断 【態度】: 授業への参加態度から判断	○	○	○	7
	単元名…集合と命題	・ 集合と部分集合 ・ 共通部分、和集合、補集合 ・ 命題と集合 ・ 命題と証明	【知識】: 定期考查から判断 【思考】: 提出物から判断 【態度】: 授業への参加態度から判断	○	○	○	7
	単元名…データの分析	・ データの整理 ・ データの代表値 ・ 四分位数、箱ひげ図	【知識】: 定期考查から判断 【思考】: 提出物から判断 【態度】: 授業への参加態度から判断	○	○	○	7
	定期考查			○	○		
							合計
							105

教 科： 数学 科 目： 数学A 単位数： 2 単位
対象学年組： 第 2 学年 A 組～ F 組
教科担当者：

使用教科書：（ 高等学校 数学A(数研出版))

教科 数学 の目標：

- | | |
|----------------|--|
| 【知識及び技能】 | 数学における基本的な概念や原理、法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 |
| 【思考力、判断力、表現力等】 | 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 |
| 【学びに向かう力、人間性等】 | 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の |

科目 数学A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確かな事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 場合の数と確率 【知識及び技能】：集合をそれぞれの場合に適した形で表すことが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】：場合の数を数える適切な方針を考察することが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】：日常語の「かつ」「または」「～でない」との関連を認識しようとする。	・集合 ・樹形図、和の法則、積の法則 ・順列 ・円順列と重複順列 ・組合せ	【知識及び技能】：定期考査から判断 【思考力、判断力、表現力等】：提出物から判断 【学びに向かう力、人間性等】：授業への参加態度から判断	○	○	○	30
	定期考査			○	○		
2 学期	B 場合の数と確率 【知識及び技能】：確率の定義に基づき、事象の確率を求めることが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】：思考の結果を事象としてとらえ、事象を既知の集合と結びつけて考えることが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】：身近な試行によっておこる事象を関連づけながら、確率に興味・関心を持つ。	・確率の計算 ・確率の基本性質 ・独立な試行の確率 ・条件付き確率 ・期待値	【知識及び技能】：定期考査から判断 【思考力、判断力、表現力等】：定期考査から判断 【学びに向かう力、人間性等】：授業への参加態度や提出物から判断	○	○	○	15
	C 数学と人間の活動 【知識及び技能】：公約数、最大公約数の意味を理解し、それらを求めることが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】：問題解決の過程を振り返って、割り算の余りの性質について考察を深めることが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】：コンピュータなどの身近な物に、 n 進法の考え方が活用されていることに興味・関心をもつ。	・約数と倍数 ・素数と素因数分解 ・整数の割り算 ・最大公約数 ・ユークリッドの互除法 ・現代の記数法	【知識及び技能】：定期考査から判断 【思考力、判断力、表現力等】：定期考査から判断 【学びに向かう力、人間性等】：授業への参加態度や提出物から判断	○	○	○	15
	定期考査			○	○		
3 学期	D 図形の性質 【知識及び技能】：三角形の性質について理解を深め、それらを事象の考察に活用できる。 【思考力、判断力、表現力等】：図形の性質を証明するのに、間接的な証明法である同一法を適用することが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】：三角形の辺と角の大小関係という、自明に見える事実でも、論理的に考察しようとする。	・角の二等分線と比 ・三角形の内心、外心、重心 ・チェバの定理、メネラウスの定理 ・円周角の定理 ・円に内接する四角形 ・方べきの定理 ・二つの円	【知識及び技能】：定期考査から判断 【思考力、判断力、表現力等】：定期考査から判断 【学びに向かう力、人間性等】：授業への参加態度や提出物から判断	○	○	○	10
	定期考査			○	○		
							合計
							70

東京都立橋高等学校 令和7年度 理科・科学と人間生活 年間授業計画

教科：理科 科目：科学と人間生活 単位数：2単位

対象学年組：第1学年A組～F組

教科担当者：

使用教科書：科学と人間生活（数研出版）

使用教材 ：新課程 科学と人間生活サポートノート 準拠（数研出版）

教科の目標：

- 【知識及び技能等】
- 自然と人間生活との関わりおよび科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究する。
- 【思考力・判断力・表現力等】
- 観察、実験などを行い、人間生活と関連づけて科学的に探究する力を養う。
- 【主体的に学習に取り組む態度】
- 自然の物事・事象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

科目の目標：

【知識及び技能等】	【思考力・判断力・表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
科学技術の発展の人間生活への貢献、身近な事物・現象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身につけ、これからの科学技術と人間生活のあり方について理解する。 また、身近な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身につける。	身近な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験、調査などを行って得た結果について、科学的に思考し、判断する。 そこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	身近な事物・現象に関心や探究心をもち、科学的な視点・観察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める態度を身につける。

学期	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	主体	配当 時数
一 学 期	科学技術の発展 【知識及び技能】：科学が人間生活の向上に寄与した歴史を知る。 【思考力、判断力、表現力等】：科学の発展と人間生活との関係について考える。 【学びに向かう力、人間性等】：積極的に授業に参加し、自ら調べ、表現しようとしている。	・科学技術の発展に伴う発明が、日常生活をどのように変容させたかを理解する。 ・科学技術の発展が、どのように人間生活を変化させ、どのような課題があるか考える。	【知識】： 検査・小テスト等 【思考】： 検査・プリント等 【態度】： プリント・提出物・出欠等	○	○	○	2
	タンパク質とDNA 【知識及び技能】：タンパク質やDNAについて知る。 【思考力、判断力、表現力等】：DNAの仕組みを知り、遺伝情報の表し方を考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】：積極的に授業に参加し、自ら調べ、表現しようとしている。	・遺伝子によって決められているヒトの形質に興味を抱き、DNAの構造や特徴、塩基配列の重要性について理解している。 ・DNAの塩基配列が、タンパク質のアミノ酸配列に置き換えられるしくみについて関心をもち、転写・翻訳の流れを理解している。	【知識】： 検査・小テスト等 【思考】： 検査・プリント等 【態度】： プリント・提出物・出欠等	○	○	○	10
	定期査査			○	○		1
	生物の内部環境維持 【知識及び技能】：器官や環境維持の仕組みを知る。 【思考力、判断力、表現力等】：内部環境がどのように維持されているか理解し、その理由を考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】：積極的に授業に参加し、自ら調べ、表現しようとしている。	・内部環境の維持の重要性について理解し、血中濃度、糖尿病、生体防衛について理解する。 ・ヒトの器官の仕組みを知り、生体反応が生じる理由を考察できる。	【知識】： 検査・小テスト等 【思考】： 検査・プリント等 【態度】： プリント・提出物・出欠等	○	○	○	10
	定期査査			○	○		1
二 学 期	光の性質とその利用 【知識及び技能】：波動の定義やさまざまな現象を知る。 【思考力、判断力、表現力等】：光や電磁波によってどのような現象が起きるか、考察する。 【学びに向かう力、人間性等】：積極的に授業に参加し、自ら調べ、表現しようとしている。	・光によって生じる現象を、波動の性質をもとに考察し、説明することができる。 ・電磁波の性質と、電磁波の利用について、説明することができる。	【知識】： 検査・小テスト等 【思考】： 検査・プリント等 【態度】： プリント・提出物・出欠等	○	○	○	12
	定期査査			○	○		1
	プラスチックの特徴と利用 【知識及び技能】：プラスチックの成分と特徴、活用を知る。 【思考力、判断力、表現力等】：プラスチックを取り巻く課題を知り、自分のできる取り組みを考えられる。 【態度】：積極的に授業に参加し、自ら調べ、表現しようとしている。	・日常生活にみられる身近な物質の素材となる材料の種類、性質、および用途について理解する。 ・わたしたちの身のまわりにあるプラスチックの特徴と、プラスチックの原料について、概ね理解している。	【知識】： 検査・小テスト等 【思考】： 検査・プリント等 【態度】： プリント・提出物・出欠等	○	○	○	6
	金属の特徴と利用 【知識及び技能】：金属の成分と特徴、活用を知る。 【思考力、判断力、表現力等】：金属を取り巻く課題を知り、自分のできる取り組みを考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】：積極的に授業に参加し、自ら調べ、表現しようとしている。	・金属の利用の歴史から、金属結合とそれにもとづく金属の性質について認識している。 ・資源の再利用方法に関心を抱き、再利用の必要性について科学的に認識する態度を身につけている。	【知識】： 検査・小テスト等 【思考】： 検査・プリント等 【態度】： プリント・提出物・出欠等	○	○	○	7
	定期査査			○	○		1
三 学 期	日本の成り立ちと防災 【知識及び技能】：日本列島の特徴や火山について知る。 【思考力、判断力、表現力等】：日本の地形を理解し、防災・減災のためにどのように対応すればいいか考察し実行できる。 【学びに向かう力、人間性等】：積極的に授業に参加し、自ら調べ、表現しようとしている。	・日本列島の特徴とその成因、日本列島付近のプレートの動きについて科学的に理解している。 ・火山の噴火によって噴き出す噴出物、火山の噴火がおこる原因、火山の形とマグマの関連性、および日本の火山活動について、論理的に思考できる。	【知識】： 検査・小テスト等 【思考】： 検査・プリント等 【態度】： プリント・提出物・出欠等	○	○	○	9
	気象と防災 【知識及び技能】：地震や気象の基本事項について知る。 【思考力、判断力、表現力等】：日本の地形を理解し、防災・減災のためにどのように対応すればいいか考察し実行できる。 【学びに向かう力、人間性等】：積極的に授業に参加し、自ら調べ、表現しようとしている。	・地震の発生のしくみや日本列島の地震活動とプレート、河川や海水のはたらきによって形成された地形について科学的に理解している。 ・地震や津波、豪雪、台風、集中豪雨、土砂災害など、日本列島で見られる気象災害の特徴と防災について考えられる。	【知識】： 検査・小テスト等 【思考】： 検査・プリント等 【態度】： プリント・提出物・出欠等	○	○	○	9
	定期査査			○	○		1
				計			70

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科

理科

科目 生物基礎

教科： 理科 科目： 生物基礎

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（実教出版 高校生物基礎）

使用教材：（浜島書店 新ステップノート）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】日常生活を回りつつ物質とその変化を理解し、科学的探究に必要な基本的技能を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生命活動に興味を持って主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的操作や記録などの技能を身に付ける。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究する。	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもって振り返り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 生物の特徴 1. 生物の共通性 【知識・技能】 生物の多様性、進化、系統、適応について理解できる 細胞の器官の構造・働きについて理解できる 【思考・判断・表現】 生物の系統について、生物の共通性と多様性を元に、進化の道筋を推論できる 原核細胞、動物細胞、植物細胞の構造の違いについて判断することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 生物や細胞に興味・関心を持ち、生命の尊厳について考えることができる	・生物の多様性を理解する。 ・生物が共通にもつ特徴を理解する。 ・DNAを抽出実験を行い、DNAをもつことが生物に共通してみられる特徴であることを確認する。 ・生物に共通してみられる特徴は、進化の過程で共通祖先から受け継がれてきたものであると考察できる。 ・原核細胞と真核細胞でそれぞれみられる特徴を理解する。また、真核細胞において、細胞小器官の機能の概要を理解する。	【知識・技能】 考查・小テスト等 【思考・判断・表現】 考查・小テスト等 【主体的に学習に取り組む態度】 プリント・提出物・出欠等	○	○	○	4
	2. 生物とエネルギー 【知識・技能】 代謝における物質とエネルギーの変化について理解できる ATPや酵素の生体内での働きについて理解できる 呼吸と光合成における物質の変化とATPの合成について理解できる 【思考・判断・表現】 同化と異化の違いについて判断できる 酵素の働きが外部条件により異なることが説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 生体における代謝の重要性について理解し、日頃の生活でどのように役に立っているか考えることができる	・代謝には同化と異化があること、また、代謝に伴うエネルギーの移動にはATPが関わっていることを理解する。 ・代謝におけるATPの役割を資料から読み取る。 ・光合成は、光エネルギーによってATPをつくり、有機物を合成する過程であることを理解する。 ・呼吸は、酵素の働きによって有機物が段階的に分解されてエネルギーが取り出され、ATPがつけられる過程であることを理解する。 ・酵素の基本的な特徴について理解する。 ・肝臓片に含まれるカタラーゼを用いて実験を行い、酵素の触媒作用を確認する。	【知識・技能】 考查・小テスト等 【思考・判断・表現】 考查・小テスト等 【主体的に学習に取り組む態度】 プリント・提出物・出欠等	○	○	○	6
	定期検査			○	○		1
	第2章 遺伝子とその働き 1. 遺伝子の本体と構造 【知識・技能】 DNAやタンパク質の構造について理解できる DNAの遺伝情報からタンパク質が作られる過程について理解できる 【思考・判断・表現】 DNAの塩基配列から、RNAの塩基配列やアミノ酸の塩基配列を判断できる グノムの違いにより生物の特徴が異なることを考えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子の働きにより、生体の機能が正常に行われていることを理解できる 遺伝子の発現により、細胞の多様性が生じていることを理解できる	・遺伝子とDNAと染色体の関係について理解する。 ・DNAの基本的な構造を理解する。 ・塩基の相補性にもとついてDNAが複製されていることに気づき、半保存的複製を理解する。 ・分裂している細胞には細胞周期がみられることを理解する。 ・間期の間にDNAが複製され、細胞分裂を通じて均等に分配されることで、細胞分裂の前後で遺伝情報の同一性が保たれることを理解する。 ・細胞の分裂の過程で起こる現象を理解する。 ・細胞周期の各時期にかかる時間を推測できる。	【知識・技能】 考查・小テスト等 【思考・判断・表現】 考查・小テスト等 【主体的に学習に取り組む態度】 プリント・提出物・出欠等	○	○	○	6
2 学 期	2. 遺伝情報とタンパク質 【知識・技能】 DNAの遺伝情報が発現することにより、生物の形質が現れることを理解できる DNAの塩基配列がアミノ酸を指定していることを理解できる 【思考・判断・表現】 DNAの塩基配列からアミノ酸配列を判断できる 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の形質がDNAの塩基配列によって決定されていることについて理解する 進化の過程によって、DNAの塩基配列が変化し、様々な生物が現れることを推測する	・多種多様なタンパク質がさまざまな働きをしていることを理解する。 ・タンパク質は、多数のアミノ酸が鎖状につながってできたものであることを理解する。 ・DNAの塩基配列において、3つの塩基の並び（コドン）が1つのアミノ酸に対応していることを理解する。 ・DNAの塩基配列がmRNAの塩基配列に写し取られ（転写）、これがアミノ酸配列に置き換えられる（翻訳）という流れを理解する。 ・遺伝暗号表をもとに、あるmRNAが指定するアミノ酸配列を考察できる。 ・遺伝暗号のノムの一部であることを理解する。 ・全遺伝子が常に発現しているのではなく、細胞によって発現する遺伝子が異なっていることを理解する。	【知識・技能】 考查・小テスト等 【思考・判断・表現】 考查・小テスト等 【主体的に学習に取り組む態度】 プリント・提出物・出欠等	○	○	○	6
	定期検査			○	○		1
	第3章 ヒトのからだの調節 1. 情報の伝達と体内環境の維持 【知識・技能】 神経系と脳、自律神経とホルモンによる調節について理解する 【思考・判断・表現】 血糖濃度や体温が自律神経とホルモンがによってどのように調節されているかを考え、発表できるようにする 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の体が、さまざまな器官の働きによって調節されていることについて、主体的に学習に取り組む	・ヒトの神経系と脳、自律神経の働きについて理解する。 ・内分泌系による調節、フィードバック調節について理解する。 ・血糖濃度調節と糖尿病について、自律神経系とホルモンの働きをもとに理解する。 ・体温調節について、自律神経系とホルモンの働きをもとに理解する。 ・血液凝固について理解する。	【知識・技能】 考查・小テスト等 【思考・判断・表現】 考查・小テスト等 【主体的に学習に取り組む態度】 プリント・提出物・出欠等	○	○	○	14
	定期検査			○	○		1
	2. 免疫 【知識・技能】 免疫の仕組みと働きについて理解できる 免疫疾患の症状や仕組みについて理解できる 【思考・判断・表現】 抗原を効率的に排除する過程について、説明できる 感染症予防のため、どのような生活をおくればよいか、説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 免疫が自分の健康に役立っていることを理解し、日頃の生活に役立てることができる	・生体の物理的・化学的防御について理解する。 ・免疫反応（自然免疫・獲得免疫）について理解する。 ・免疫疾患（自己免疫疾患、アレルギー、免疫不全症）について理解する。 ・免疫を利用した医療（予防接種、血清療法）について理解する。	【知識・技能】 考查・小テスト等 【思考・判断・表現】 考查・小テスト等 【主体的に学習に取り組む態度】 プリント・提出物・出欠等	○	○	○	7
3 学 期	第4章 植生と遷移 1. 植生と遷移 【知識・技能】 植生と環境との関係について理解できる 陰生植物と陽生植物の遷移について理解する 【思考・判断・表現】 どのような環境で陰生植物と陽生植物が有利になるか説明できる どのような過程で遷移が進展するか説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な植物の光合成と生活について、興味を持ち、調べることができる	・植生とその特徴、植生と環境との関係について理解する。 ・陰生植物と陽生植物、陽葉・陰葉について理解する。 ・一次遷移のモデル的過程について理解する。 ・二次遷移と二次遷移について理解する。	【知識・技能】 考查・小テスト等 【思考・判断・表現】 考查・小テスト等 【主体的に学習に取り組む態度】 プリント・提出物・出欠等	○	○	○	5
	定期検査			○	○		1
	第5章 バイオーム 【知識・技能】 それぞれのバイオームの特徴について理解できる 【思考・判断・表現】 植生が気温と降水量により変化することを説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 身近なバイオームについて興味を持ち、調べることができる	・植生の遷移とバイオーム（資料12、資料13） ・世界のバイオーム ・日本のバイオーム（垂直分布と水平分布）	【知識・技能】 考查・小テスト等 【思考・判断・表現】 考查・小テスト等 【主体的に学習に取り組む態度】 プリント・提出物・出欠等	○	○	○	5
	第5章 生態系とその保全 1. 生態系と生物の多様性 【知識・技能】 生態系がどのように構成されているか理解する 【思考・判断・表現】 身近な生態系における種の多様性について説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 生態系において種の多様性が大事であることを説明できる	・生態系の概念、作用と環境形成作用。 ・生態系における生物の種の多様性を見いだす。 ・食物連鎖と食物網について理解する。 ・種の多様性と生物間の関係性について理解する。	【知識・技能】 考查・小テスト等 【思考・判断・表現】 考查・小テスト等 【主体的に学習に取り組む態度】 プリント・提出物・出欠等	○	○	○	6
3 学 期	2. 生態系のバランスと保全 【知識・技能】 生態系のバランスが、人間の活動により失われている事例について理解できる 【思考・判断・表現】 人為的攪乱が生態系にどのように影響しているのか説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 生態系を保全するために何が必要なのか、自ら考えて行動する	・生態系のバランスと人為的攪乱について理解する。 ・自然浄化について理解する。 ・人間活動による生物の多様性への影響について理解する。 ・生態系の保全の重要性を認識する。	【知識・技能】 考查・小テスト等 【思考・判断・表現】 考查・小テスト等 【主体的に学習に取り組む態度】 プリント・提出物・出欠等	○	○	○	6
	定期検査			○	○		1
							合計 70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教 科： 保健体育 科 目： 体育 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ 大修館 ）

教科 保健体育 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】
- 基礎的体力と運動技能の向上を図る
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 健康・安全についての理解を深め、集団における自己の役割を自覚して協力及び責任ある行動がとれるようにする
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 創意工夫や努力をし、自主的・主体的に運営する能力を身につける

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。	・自己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる。	・主体的に運動に取り組み、運動の楽しさや喜びを体得させる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 陸上競技 【知識及び技能】 運動の特性を理解し、自己の体力向上を目指す 【思考力、判断力、表現力等】 自己のベストタイム、スコアに挑戦する 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力し生涯体育への導入にする	◎陸上競技、体づくり運動 ・短距離走 ・走り高跳び ・体力向上のための運動	【知識・技能】 ・トレーニングの種類や練習方法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。	○	○	○	6
	単元 球技 【知識及び技能】 ルールを理解しプレーができる 【思考力、判断力、表現力等】 基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎バレーボール ・パス、レシーブ、スパイク、ブロック ・簡易ゲーム	【知識・技能】 ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。	○	○	○	12
	単元 水泳 【知識及び技能】 水難事故を防ぐ知識を身に付けさせる 【思考力、判断力、表現力等】 各種泳法を身に付け安全に泳ぐことができる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力し救助活動の仕方を身に付けている。	◎水泳 ・クロール、平泳ぎ、背泳ぎの泳法指導 ・安全に速く泳ぐ、長く泳ぐ技術指導	【知識・技能】 ・安全に泳ぐ知識・泳法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に水泳の楽しさや泳ぐ喜びを体得する。	○	○	○	6
2 学 期	単元 水泳 【知識及び技能】 水難事故を防ぐ知識を身に付けさせる 【思考力、判断力、表現力等】 各種泳法を身に付け安全に泳ぐことができる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力し救助活動の仕方を身に付けている。	◎水泳 ・クロール、平泳ぎ、背泳ぎの泳法指導 ・安全に速く泳ぐ、長く泳ぐ技術指導	【知識・技能】 ・安全に泳ぐ知識・泳法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に水泳の楽しさや泳ぐ喜びを体得する。	○	○	○	2
	単元 球技 【知識及び技能】 ルールを理解しプレーができる 【思考力、判断力、表現力等】 基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎ソフトボール ・キャッチボール ・ピッチング ・バッティングの基礎 ◎バスケットボール ・パス、ドリブル、シューティング、ドリブルシュート、ランニングシュート ・簡易ゲーム ◎バドミントン ・ストローク（フォアハンド、バックハンド） ・オーバー・サイド・アンダーストローク ・ショット（ハイクリアー、クリアー、ドライブ ・クリアー、ドロップ、スマッシュ） ・簡易ゲーム	【知識・技能】 ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。	○	○	○	22
	単元 陸上競技 【知識及び技能】 ルールを理解しプレーができる 【思考力、判断力、表現力等】 基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎陸上競技 ・持久走 ・体力向上のための運動	【知識・技能】 ・トレーニングの種類や練習方法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。	○	○	○	4
	単元 陸上競技	◎陸上競技	【知識・技能】				

3 学 期	【知識及び技能】 ルールを理解しプレーができる 【思考力、判断力、表現力等】 基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	・持久走 ・体力向上のための運動	・トレーニングの種類や練習方法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。	○	○	○	2
	単元 球技 【知識及び技能】 ルールを理解しプレーができる 【思考力、判断力、表現力等】 基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎バドミントン ・ストローク（フォアハンド、バックハンド） オーバー・サイド・アンダーストローク ・ショット（ハイクリアー、クリアー、ドライブ クリアー、ドロップ、スマッシュ） ・簡易ゲーム ◎アルティメット ・スロー （バックハンド、フォアハンド、ハンマー） ・簡易ゲーム	【知識・技能】 ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。	○	○	○	14
	単元 体育理論 【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組む	◎体育理論 ・指導事項 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展 ・教材 教科書・保健ノート ・一人1台端末の活用 等 ICT機器を活用した調べ学習	【知識・技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解することができる 【思考・判断・表現】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができる	○	○	○	2
							合計
							70

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教 科： 保健体育 科 目： 体育 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ 大修館 ）

教科 保健体育 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 基礎的体力と運動技能の向上を図る

【思考力、判断力、表現力等】 健康・安全についての理解を深め、集団における自己の役割を自覚して協力及び責任ある行動がとれるようにする

【学びに向かう力、人間性等】 創意工夫や努力をし、自主的・主体的に運営する能力を身につけ、生涯に亘ってスポーツを親しむ態度を身につける

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。	・自己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる。	・主体的に運動に取り組み、運動の楽しさや喜びを体得させる。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元 陸上競技 【知識及び技能】 運動の特性を理解し、自己の体力向上を目指す 【思考力、判断力、表現力等】 自己のベストタイムに挑戦する 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力し生涯体育への導入にする	◎陸上競技、体づくり運動 ・短距離走 ・走り高跳び ・体力向上のための運動	【知識・技能】 ・トレーニングの種類や練習方法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	6
	単元 球技 【知識及び技能】 ルールを理解しプレーができる 【思考力、判断力、表現力等】 基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎バレーボール ・パス、レシーブ、スパイク、ブロック ・簡易ゲーム	【知識・技能】 ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。] ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	12
	単元 水泳 【知識及び技能】 水難事故を防ぐ知識を身に付けさせる 【思考力、判断力、表現力等】 各種泳法を身に付け安全に泳ぐことができる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力し救助活動の仕方を身に付けている。	◎水泳 ・クロール、平泳ぎ、背泳ぎの泳法指導 ・安全に速く泳ぐ、長く泳ぐ技術指導	【知識・技能】 ・安全に泳ぐ知識・泳法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に水泳の楽しさや泳ぐ喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	6
	単元 水泳 【知識及び技能】 水難事故を防ぐ知識を身に付けさせる 【思考力、判断力、表現力等】 各種泳法を身に付け安全に泳ぐことができる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力し救助活動の仕方を身に付けている。	◎水泳 ・クロール、平泳ぎ、背泳ぎの泳法指導 ・安全に速く泳ぐ、長く泳ぐ技術指導	【知識・技能】 ・安全に泳ぐ知識・泳法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に水泳の楽しさや泳ぐ喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	2
	単元 球技 【知識及び技能】 ルールを理解しプレーができる 【思考力、判断力、表現力等】 基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる 【学びに向かう力、人間性等】	◎ソフトボール ・キャッチボール ・ピッチング ・バッティングの基礎 ◎バスケットボール ・パス、ドリブル、シュート	【知識・技能】 ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。				

2 学 期	他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	ドリブルシュート、ランニングシュート ・簡易ゲーム ◎バドミントン ・ストローク（フォアハンド、バックハンド） オーバー・サイド・アンダー ストローク ・ショット（ハイクリアー、クリアー、ドライブ クリアー、ドロップ、スマッシュ） ・簡易ゲーム	・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	20
	単元 陸上競技 【知識及び技能】 ルールを理解しプレーができる 【思考力、判断力、表現力等】 基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎陸上競技 ・持久走 ・体力向上のための運動	【知識・技能】 ・トレーニングの種類や練習方法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	4
3 学 期	単元 陸上競技 【知識及び技能】 ルールを理解しプレーができる 【思考力、判断力、表現力等】 基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎陸上競技 ・持久走 ・体力向上のための運動	【知識・技能】 ・トレーニングの種類や練習方法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	3
	単元 球技 【知識及び技能】 ルールを理解しプレーができる 【思考力、判断力、表現力等】 基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎バドミントン ・ストローク（フォアハンド、バックハンド） オーバー・サイド・アンダー ストローク ・ショット（ハイクリアー、クリアー、ドライブ クリアー、ドロップ、スマッシュ） ・簡易ゲーム ◎アルティメット ・スロー （バックハンド、フォアハンド、ハンマー） ・簡易ゲーム	【知識・技能】 ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	15
	単元 体育理論 【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができる	◎体育理論 ・指導事項 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展 ・教材 教科書・保健ノート ・一人1台端末の活用 等 ICT機器を活用した調べ学習	【知識・技能】 ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	2
						合計	70

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教 科： 保健体育 科 目： 体育 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ 大修館 ）

教科 保健体育 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】 基礎的体力と運動技能の向上を図る
- 【思考力、判断力、表現力等】 健康・安全についての理解を深め、集団における自己の役割を自覚して協力及び責任ある行動がとれるようにする
- 【学びに向かう力、人間性等】 創意工夫と努力をし、自主的・主体的に運営する能力を身につけ、生涯に亘ってスポーツを親しむ態度を身につける

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。	・自己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる。	・主体的に運動に取り組み、運動の楽しさや喜びを体得させる。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元 陸上競技 【知識及び技能】 運動の特性を理解し、自己の体力向上を目指す 【思考力、判断力、表現力等】 自己のベストタイムに挑戦する 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力し生涯体育への導入にする	◎陸上競技、体づくり運動 ・短距離走 ・走り高跳び ・体力向上のための運動	【知識・技能】 ・トレーニングの種類や練習方法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	6
	単元 球技 【知識及び技能】 ルールを理解しプレーができる 【思考力、判断力、表現力等】 基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎バレーボール ・パス、レシーブ、スパイク、ブロック ・簡易ゲーム	【知識・技能】 ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	12
	単元 選択球技 【知識及び技能】 ルールを理解しプレーができる 【思考力、判断力、表現力等】 基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎バドミントン ・ストローク（フォアハンド、バックハンド） オーバー・サイド・アンダー ストローク ・ショット（ハイクリアー、クリアー、ドライブ クリアー、ドロップ、スマッシュ） ・簡易ゲーム（シングルス、ダブルス） ◎アルティメット ・スロー （バックハンド、フォアハンド、ハンマー） ・簡易ゲーム ◎卓球 ・ストローク（フォア、バック） ・簡易ゲーム（シングルス、ダブルス）	【知識・技能】 ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	12
	単元 水泳 【知識及び技能】 水難事故を防ぐ知識を身に付けさせる 【思考力、判断力、表現力等】 各種泳法を身に付け安全に泳ぐことができる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力し救助活動の仕方を身に付けている。	◎水泳 ・クロール、平泳ぎ、背泳ぎの泳法指導 ・安全に速く泳ぐ、長く泳ぐ技術指導	【知識・技能】 ・安全に泳ぐ知識・泳法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に水泳の楽しさや泳ぐ喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	6
	単元 水泳 【知識及び技能】 水難事故を防ぐ知識を身に付けさせる 【思考力、判断力、表現力等】 各種泳法を身に付け安全に泳ぐことができる	◎水泳 ・クロール、平泳ぎ、背泳ぎの泳法指導 ・安全に速く泳ぐ、長く泳ぐ技術指導	【知識・技能】 ・安全に泳ぐ知識・泳法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。	○	○	○	2

2 学 期	【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力し救助活動の仕方を身に付けている。		・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に水泳の楽しさや泳ぐ喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。				
	単元 球技 【知識及び技能】 ルールを理解しプレーができる 【思考力、判断力、表現力等】 基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎ソフトボール ・キャッチボール ・ピッチング ・バッティングの基礎 ◎バスケットボール ・パス、ドリブル、シュート、 ドリブルシュート、ランニングシュート ・簡易ゲーム ◎バドミントン ・ストローク（フォアハンド、バックハンド） オーバー・サイド・アンダー ストローク ・ショット（ハイクリアー、クリアー、ドライブ クリアー、ドロップ、スマッシュ） ・簡易ゲーム	【知識・技能】 ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	24
	単元 選択球技 【知識及び技能】 ルールを理解しプレーができる 【思考力、判断力、表現力等】 基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎バドミントン ・ストローク（フォアハンド、バックハンド） オーバー・サイド・アンダー ストローク ・ショット（ハイクリアー、クリアー、ドライブ クリアー、ドロップ、スマッシュ） ・簡易ゲーム（シングルス、ダブルス） ◎アルティメット ・スロー （バックハンド、フォアハンド、ハンマー） ・簡易ゲーム ◎卓球 ・ストローク（フォア、バック） ・簡易ゲーム（シングルス、ダブルス）	【知識・技能】 ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	13
3 学 期	単元 球技 【知識及び技能】 ルールを理解しプレーができる 【思考力、判断力、表現力等】 基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎バドミントン ・ストローク（フォアハンド、バックハンド） オーバー・サイド・アンダー ストローク ・ショット（ハイクリアー、クリアー、ドライブ クリアー、ドロップ、スマッシュ） ・簡易ゲーム ◎アルティメット ・スロー （バックハンド、フォアハンド、ハンマー） ・簡易ゲーム	【知識・技能】 ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	18
	単元 選択球技 【知識及び技能】 ルールを理解しプレーができる 【思考力、判断力、表現力等】 基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎バドミントン ・ストローク（フォアハンド、バックハンド） オーバー・サイド・アンダー ストローク ・ショット（ハイクリアー、クリアー、ドライブ クリアー、ドロップ、スマッシュ） ・簡易ゲーム（シングルス、ダブルス） ◎アルティメット ・スロー （バックハンド、フォアハンド、ハンマー） ・簡易ゲーム ◎卓球 ・ストローク（フォア、バック） ・簡易ゲーム（シングルス、ダブルス）	【知識・技能】 ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	10
	単元 体育理論 【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解することができる	◎体育理論 ・指導事項 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展 ・教材 教科書・保健ノート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考・判断・表現】 ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。				2
							合計

スポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができる	ICT機器を活用した調べ学習	・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	105
---	----------------	---	---	---	---	-----

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教 科： 保健体育 科 目： 保健 単位数： 1 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ 大修館書店 現代高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う

【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 現代社会と健康 【知識及び技能】 現代社会と健康について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともにそれらを表現する 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会と健康の学習に、積極的に取り組む	現代高等保健体育 ・健康の考え方と成り立ち ・私たちの健康のすがた ・生活習慣病の予防と回復 ・がんの原因と予防 ・がんの治療と回復	【知識及び技能】 現代社会と健康について理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともにそれらを表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会と健康の学習に、積極的に取り組むことができる	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2 学 期	単元 現代社会と健康 【知識及び技能】 現代社会と健康について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともにそれらを表現する 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会と健康の学習に、積極的に取り組む	現代高等保健体育 ・運動と健康 ・食事と健康 ・休養、睡眠と健康 ・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康 ・精神疾患の特徴 ・精神疾患の予防 ・精神疾患からの回復	【知識及び技能】 現代社会と健康について理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともにそれらを表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会と健康の学習に、積極的に取り組むことができる	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学 期	単元 安全な社会生活 【知識及び技能】 安全な社会生活について理解を深めるとともに、応急手当を適切にする 【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避方法を考え、それらを表現する 【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会生活の学習に、積極的に取り組む	現代高等保健体育 ・応急手当の意義とその基本 ・日常的な応急手当 ・心肺蘇生法	【知識及び技能】 安全な社会生活について理解を深めるとともに、応急手当を適切にすることができる 【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避方法を考え、それらを表現できる 【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会生活の学習に、積極的に取り組むことができる	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
						合計	35

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教 科： 保健体育 科 目： 保健 単位数： 1 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ 大修館書店 現代高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う

【学びに向かう力、人間性等】生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 生涯を通じる健康 【知識及び技能】 生涯を通じる健康について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を 定期考査	現代高等保健体育 ・ライフステージと健康 ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ・妊娠、出産と健康 ・避妊法と人工妊娠中絶	【知識及び技能】 生涯を通じる健康について理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともにそれらを表現することができる	○	○	○	10
				○	○		1
2 学 期	単元 健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 様々な健康に関する要因や事象について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 自身が調べまとめた研究内容を他者に分かりやすく表現する 【学びに向かう力、人間性等】 研究発表に向けての準備を意欲的に取り組んでいる	研究発表	【知識及び技能】 自身で決めたテーマに関する知識をまとめることができる 【思考力、判断力、表現力等】 自身が調べまとめた研究内容を工夫をし、他者に分かりやすく表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 研究発表に向けての準備を意欲的に取り組んでいる 他者の研究発表について意欲的に学ぼうとしている	○	○	○	13
	単元 生涯を通じる健康 【知識及び技能】 生涯を通じる健康について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともにそれらを表現する 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じる健康の学習に、積極的に取り組む	現代高等保健体育 ・結婚生活と健康	【知識及び技能】 生涯を通じる健康について理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともにそれらを表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じる健康の学習に、積極的に取り組むことができる	○	○	○	2

3 学 期	単元 生涯を通じる健康 【知識及び技能】 生涯を通じる健康について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともにそれらを表現する 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じる健康の学習に、積極的に取り組む	現代高等保健体育 ・中高年期と健康 ・働くことと健康 ・労働災害と健康 ・健康的な職業生活	【知識及び技能】 生涯を通じる健康について理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともにそれらを表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じる健康の学習に、積極的に取り組むことができる	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
							合計
							35

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科		外国語		英語コミュニケーションⅠ	
教 科： 外国語	科 目： 英語コミュニケーションⅠ	単位数： 3	単位		
対象学年組： 第 1 学年 A 組～ F 組					
教科担当者：					
使用教科書：（ All Aboard 1 東京書籍 ）					
教科 外国語 の目標：					

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・動詞の過去形の文の形や意味を理解する。 ・対話の内容を聞き取る技能を身につける。	・スピーチや紹介文を理解する。 ・考えについて理由を書くことができる。 ・学んだことに基づいて考えを伝え合う。	・学んだ情報をもとに話そうとしている。 ・自分の考えを書こうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 (や)	話 (発)	書					
1 学 期	A 単元 Lesson1 Breakfast 【知識及び技能】Be動詞、一般動詞の用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】世界の朝食について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】文章を読み、自分の感想を伝える。	【題材】ベルギーの朝食、ベトナムの朝食の紹介文を読み、文化の違いを学ぶ。朝食と健康について考えを深める。 【学習項目】一般動詞の過去形、不規則動詞	○	○	○		○	【知識・技能】 新出単語の暗記、小テスト。 【思考・判断・表現】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 春休み課題、提出物、作文。	○	○	○	20
	定期考査(中間)								○	○		1
	B 単元 Lesson 2 Australia's Cute Quokkas 【知識及び技能】現在進行形と過去進行形の用法を習得する。【思考力、判断力、表現力等】 豪州の珍しい動物の習性を学び、自分の考えをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】授業中の配布物や教科書の内容に取り組むことができる。	【題材】豪州に生息する野生動物について記述された文章が概要を理解する。また自分の好きな動物について紹介する。 【学習項目】現在進行形、過去進行形	○	○	○		○	【知識・技能】 新出単語の暗記、小テスト。 【思考・判断・表現】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物、作文。発表。	○	○	○	20
	定期考査								○	○		1
2 学 期	C 単元 Lesson 3 A Train Driver in Sanriku 【知識及び技能】 助動詞canとwillの用法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】三陸鉄道で働く運転手のエピソードをもとに地元への愛着や働き甲斐について考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】将来の仕事について話し合い、考えを伝える。	【題材】三陸海岸ではたらく列車運転士の姿を通して働きがいについて考えを深める。また自分の生き方について考え、表現する。 【学習項目】一般動詞の過去形、不規則動詞	○	○	○		○	【知識・技能】 新出単語の暗記、小テスト。 【思考・判断・表現】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 夏休み課題、提出物、作文。	○	○	○	20
	定期考査								○	○		1
	D 単元 Lesson 4 A Miracle Mirror 【知識及び技能】 不定詞の用法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】南米の不思議な風景について文章を読み、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】夢のような風景について感想を書く。	【題材】南米の観光地についての紹介文を題材に学ぶ。塩原という自然の不思議な風景に考えを深める。また、作文では、週末やりたことを習った文法を活用して表現する 【学習項目】不定詞の名詞用法を活用して作文する。	○	○	○		○	【知識・技能】 新出単語の暗記、小テスト。 【思考・判断・表現】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物、作文。	○	○	○	20
	定期考査								○	○		1
3 学 期	E 単元 Lesson 5 Learning from the Sea 【知識及び技能】 動名詞を含む表現を理解する。将来の夢について表現する。 【思考力、判断力、表現力等】本文の読み取る。水族館の集客や、高校生が説明するときの工夫などのエピソードから、自分の考えをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】学んだことを紙に書く。	【題材】水族館部というユニークな活動をもとに、苦労した話ややりがいについて文章を読みとることを目的とする。 【学習項目】動名詞の用法。	○	○	○		○	【知識・技能】 新出単語の暗記、小テスト。 【思考・判断・表現】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 冬休み課題、提出物、作文。	○	○	○	20
	学年末考査								○	○		1 合 計 105

高等学校 令和7年度（2学年用）教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

使用教科書：（ All Aboard! II 東京書籍 ）

【学びに向かう力、人間性等】 英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。自学自習の態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の音声や、基礎的な語彙・表現・文法に対する理解を深める。その知識を活用し、簡単な意思疎通ができる。	易しい英語で書かれた日常的・社会的な話題について、文化的背景や、概要・要点を理解する。これらを活用して、簡単な英語で表現・伝達ができる。	既知の単語・表現を使い、積極的に英語を使うとする姿勢を養う。自主的に学習する姿勢を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話「 や」	話「 発」	書					
1 学 期	A 単元 Lesson 1 A Colorful Island 【知識及び技能】 関係代名詞whatを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 行ってみたい場所（観光地等）について平易な英語で述べることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 プラーノ島について家々が色彩豊かな理由を知る 定期考査(中間)	関係代名詞whatの用法を理解し、使い方を習得する。プラーノ島の特徴を知る。世界各地の有名観光地の概要を知る。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 考查、インタビューテスト、課題（ノート・プリント）、小テスト 【思考・判断・表現】 考查、インタビューテスト、ワークブック・平常点 【主体的に学習に取り組む態度】 休業中課題、課題（ノート・プリント）、ワークブック・平常点	○	○	○	19
	B 単元 Lesson 2 With the Beatles 【知識及び技能】 比較表現(more the most)を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世代を超えて人気のある人物について平易な英語で述べることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 The Beatlesのデビュー当時から現在までの変遷、各世代におけるThe Beatlesの人気曲が与えた影響等を 定期考査(期末)	比較表現(more, the most)の用法を理解し、使い方を習得する。サムがなぜ“In My Life”をラジオ番組にリクエストするのか、また、DJのお気に入りの曲について話し合う。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 考查、インタビューテスト、課題（ノート・プリント）、小テスト 【思考・判断・表現】 考查、インタビューテスト、ワークブック・平常点 【主体的に学習に取り組む態度】 休業中課題、課題（ノート・プリント）、ワークブック・平常点	○	○	○	20
									○	○		1
2 学 期	C 単元 Lesson 3 Wild Men 【知識及び技能】 itの用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な行事について、平易な英語で紹介することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 いろいろな行事で人々が仮装をする理由について話し合う。 定期考査(中間)	itの用法を理解し、使い方を習得する。イベント（ハロウィン等）でなぜ人々は仮装をするのかについて話し合う。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 考查、インタビューテスト、課題（ノート・プリント）、小テスト 【思考・判断・表現】 考查、レシテーション、ワークブック・平常点 【主体的に学習に取り組む態度】 休業中課題、課題（ノート・プリント）、ワークブック・平常点	○	○	○	20
	D 単元 Lesson 4 Little Hero 【知識及び技能】 関節疑問文を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の好きな物語を平易な英語で紹介することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ハチドリの特徴や習性を知る。 定期考査(期末)	関節疑問文を理解し、使い方を習得する。提示されたイラストからその後のハチドリの物語を予想する。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 考查、インタビューテスト、課題（ノート・プリント）、小テスト 【思考・判断・表現】 考查、レシテーション、ワークブック・平常点 【主体的に学習に取り組む態度】 休業中課題、課題（ノート・プリント）、ワークブック・平常点	○	○	○	21
									○	○		1
3 学 期	E 単元 Lesson 5 Special Makeup in Kabuki 【知識及び技能】 to不定詞を含む表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の伝統文化について、平易な英語で説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 歌舞伎を含む日本の伝統文化の概要を知り、考察する。 定期考査(期末)	to不定詞を含む表現を理解し、使い方を習得する。歌舞伎の特徴の一つである隈取の特徴について話し合う。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 考查、インタビューテスト、課題（ノート・プリント）、小テスト 【思考・判断・表現】 考查、インタビューテスト、ワークブック・平常点 【主体的に学習に取り組む態度】 休業中課題、課題（ノート・プリント）、ワークブック・平常点	○	○	○	20
									○	○		1
												合計 105

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科		外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ
教科： 外国語	科目： 英語コミュニケーションⅡ	単位数： 2	単位	
対象学年組：第 3 学年 A 組～ F 組				
教科担当者：				
使用教科書：（ ALL Aboard! Ⅱ（東京書籍））				
教科 外国語	の目標：			

教科 外国語 の目標：

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の音声や、基礎的な語・表現・文法に対する理解を深める。その知識を活用し、簡単な意思疎通ができる。	平易な英語で書かれた日常的な話題や社会的な話題について、文化的背景や、概要・要点を理解する。これらを活用して、簡単な英語で表現したり伝えることができる。	知っている単語、表現を使って積極的に英語を使おうとする態度を養う。

[illegible]

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎 単位数： 2 単位
対象学年組： 第 2 学年 A 組～ F 組
教科担当者：
使用教科書：（ 図説 家庭基礎 （実教出版） ）

教科 家庭 の目標：
【知識及び技能】 生活を主体的に営むために必要な基礎的なことについて理解している。
【思考力、判断力、表現力等】 生活の中から問題を見出し課題を設定し、解決しようとしている。
【学びに向かう力、人間性等】 自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

科目 家庭基礎	の目標：
【知識及び技能】	生活を主体的に営むために必要な基礎的なことについて理解している。
【思考力、判断力、表現力等】	生活の中から問題を見出し課題を設定し、解決しようとしている。
【学びに向かう力、人間性等】	自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元：自分らしい生き方と家族 【知識及び技能】 青年期の課題を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 課題を解決する力を身に付けている 【学びに向かう力、人間性等】 生活の充実向上のため実践しようとする	青年期の生き方について自立の観点から学習する。 家族の形態や世帯構成の変化について学習し、現代の家族の課題について考える。 ・グループワーク ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 定期テスト・ワークシート 【思考・判断・表現】 定期考査・ワークシート・ポートフォリオ 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオ	○	○	○	8
	B 単元：子供とかかわる 【知識及び技能】 乳幼児に関する基礎的な知識・技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力等】 課題を解決する力を身に付けている 【学びに向かう力、人間性等】 生活の充実向上のため実践しようとする	妊娠の成立から誕生までを理解し、その重要性を理解する。 子どもの発達について、学習する。 子どもの生活習慣と健康について、理解する。 ・グループワーク ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 定期テスト・ワークシート・作品 【思考・判断・表現】 定期考査・ワークシート・ポートフォリオ 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオ	○	○	○	8
	C 単元：衣生活をつくる 【知識及び技能】 衣服の機能と着想について理解し、日常の修繕をする技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力等】 課題を解決する力を身に付けている 【学びに向かう力、人間性等】 生活の充実向上のため実践しようとする	衣服素材の種類と特徴について学習する。 洗濯の種類と方法、洗剤のはたらきについて学習する。 被服製作実習を通して技術を身に付ける。 ・グループワーク、被服実習 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 定期テスト・ワークシート・作品 【思考・判断・表現】 定期考査・ワークシート・ポートフォリオ 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオ	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	D 単元：経済的に自立する 【知識及び技能】 家計管理および社会保障と家計のかかわりを理解している 【思考力、判断力、表現力等】 課題を解決する力を身に付けている 【学びに向かう力、人間性等】 生活の充実向上のため実践しようとする	家計の構成（収入・支出）を学習する。 生涯を見通した経済計画と管理、契約や主体的な消費行動について学習する。 様々な販売方法や問題商法、多様化する支払い方法や多重債務について、対処法等を理解する。 ・グループワーク ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 定期テスト・ワークシート 【思考・判断・表現】 定期考査・ワークシート・ポートフォリオ 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオ	○	○	○	8
	E 単元：住生活をつくる 【知識及び技能】 住居の持つ機能と役割を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 課題を解決する力を身に付けている 【学びに向かう力、人間性等】 生活の充実向上のため実践しようとする	人との住まいのかかわりやライフステージと住まいの計画、安全や健康に配慮した住まいについて学習する。 ・グループワーク ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 定期テスト・ワークシート・発表 【思考・判断・表現】 定期考査・ワークシート・ポートフォリオ 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオ・発表	○	○	○	8
	F 単元：食生活をつくる 【知識及び技能】 自分の食生活の管理に必要な技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力等】 課題を解決する力を身に付けている 【学びに向かう力、人間性等】 生活の充実向上のため実践しようとする	食生活と健康の関係について学習する。 5大栄養素の特徴について理解し、からだとのつながりについて考える。 食中毒の種類や予防法を理解する。 食事摂取基準を理解し、何をどれくらい食べるのか理解する。 ・グループワーク、調理実習 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 定期テスト・ワークシート・発表 【思考・判断・表現】 定期考査・ワークシート・ポートフォリオ 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオ・発表	○	○	○	11
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	G 単元：社会とかかわる 【知識及び技能】 社会保障システムや共生の在り方について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 課題を解決する力を身に付けている 【学びに向かう力、人間性等】 生活の充実向上のために実践しようとする	自助・共助・公助について、様々な立場の人々との共生について学習する。 年金・税金をはじめとする社会保障システムを理解し、生涯にわたる生活とのつながりについて考える。 多様な人々との共生について考える。 ・グループワーク ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 定期テスト・ワークシート・発表 【思考・判断・表現】 定期考査・ワークシート・ポートフォリオ 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオ・発表				
	D 単元：社会とかかわる 【知識及び技能】 社会保障システムや共生の在り方について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 課題を解決する力を身に付けている 【学びに向かう力、人間性等】 生活の充実向上のために実践しようとする			○	○	○	8

H 単元：消費行動を考える 【知識及び技能】 エシカル・コンシューマーについて理解している 【思考力、判断力、表現力等】 課題を解決する力を身に着けている 【学びに向かう力、人間性等】 生活の充実向上のために実践しようとする	消費行動とSDG s との関りを理解し、望ましい消費行動について学習する。 企業の社会的責任や、消費者の責任について知り、持続可能な社会の実現について考える。 ・グループワーク ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 定期テスト・ワークシート・発表 【思考・判断・表現】 定期考査・ワークシート・ポートフォリオ 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオ・発表	○	○	○	8
定期考査			○	○	○	1
						合計
						70

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 産業(ビジネス) 科目 マーケティング

教 科： 産業(ビジネス) 科 目： マーケティング 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ 実教出版 マーケティング ）

使用教材：（ 実教出版 マーケティング 教科書準拠問題集 ）

教科 産業（ビジネス） の目標：

- 【知識及び技能】 マーケティングについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 マーケティングに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、マーケティングに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 マーケティング の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
企業における事例など実際のマーケティングと関連つけて理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つマーケティングに関する知識と技術を身に付ける。	課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、顧客についての理解、市場の動向、マーケティングに関する理論、データ、成功事例や改善を要する事例などに基づいて、よりよく解決することについて考える。	当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的にに関わり、市場調査の実施と情報の分析、製品政策、価格政策、チャネル政策、プロモーション政策の企画と実施などに責任をもって取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	第1章 マーケティングの概要 1. マーケティングの歴史と発展 2. 現代の市場とマーケティング 3. マーケティング環境の分析 4. マーケティング・マネジメント 第2章 消費者行動の理解 1. 消費者の心理と行動の関係 2. 購買意思決定過程 3. 消費者行動に影響を与える要因 【知識及び技能】 マーケティングの概要と消費者行動を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 消費者心理や行動に与える影響について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、自ら考え、表現する。	マーケティングを学ぶ意義を理解する。 現代市場の特徴を理解し、マーケティングの考え方や手順について学ぶ。 現代市場における消費者保護や環境問題、法令遵守、企業の社会的責任などの重要性について理解を深める。マーケティングの意義や一連の流れを学ぶ。	【知識・技能】 小テスト・考查等 【思考・判断・表現】 プリント・問題集・考查等 【主体的に学習に取り組む態度】 出欠・プリント・提出物・授業態度等	○	○	○	5
	【知識及び技能】 マーケティングの概要と消費者行動を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 消費者心理や行動に与える影響について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、自ら考え、表現する。	マーケティング計画の立案に必要な消費者行動について学ぶ。 消費者の心理や購買意思決定までの過程、消費者行動に影響を与える要因について理解する。 消費者行動について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。		○	○	○	10
	定期考查			○	○		1
	第3章 市場調査 1. 市場調査の概要 2. 市場調査の手順 3. 仮説検証の手順 4. 実態調査の方法 第4章 STP 1. セグメンテーション 2. ターゲティング 3. ポジショニング 【知識及び技能】 市場調査とSTP分析を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 調査結果で得られた情報を分析する。また、STP分析に関する課題を発見し、対応策を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、自ら考え、表現する。	市場調査について理解し、関連する技術を学ぶ。 市場調査に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づく調査計画を立案して実施し、評価・改善するとともに、市場調査で得られた情報を分析する。 市場調査について自ら学び、マーケティングに必要な情報の収集と分析に積極的に取り組む。	【知識・技能】 小テスト・考查等 【思考・判断・表現】 プリント・問題集・考查等 【主体的に学習に取り組む態度】 出欠・プリント・提出物・授業態度等	○	○	○	10
	【知識及び技能】 市場調査とSTP分析を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 調査結果で得られた情報を分析する。また、STP分析に関する課題を発見し、対応策を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、自ら考え、表現する。	STP分析を理解し、関連する技術を学ぶ。また、その課題を発見し、その解決方法を考える。 STP分析について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。		○	○	○	7
2 学 期	定期考查			○	○		1
	第5章 製品政策 1. 製品政策の概要 2. 新製品開発 3. 販売計画と生産計画 4. 製品政策の動向 第6章 価格政策 1. 価格政策の概要 2. 価格の設定方法 3. 価格政策の動向 【知識及び技能】 製品政策と価格政策を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 製品政策の課題について考察し、自分の意見を表現する。価格政策の課題を、経済や消費者の動向などを踏まえて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、自ら考え、表現する。	製品政策について企業における事例と関連付けて理解する。 製品政策に関する課題を発見し、それを踏まえ、製品政策を立案して実施し、評価・改善する。 価格政策について企業における事例と関連付けて理解する。 価格政策に関する課題を発見し、それを踏まえ、価格政策を立案して実施し、評価・改善する。 価格政策について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、価格政策に主体的かつ協働的に取り組む。	【知識・技能】 小テスト・考查等 【思考・判断・表現】 プリント・問題集・考查等 【主体的に学習に取り組む態度】 出欠・プリント・提出物・授業態度等	○	○	○	15
	【知識及び技能】 製品政策と価格政策を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 製品政策の課題について考察し、自分の意見を表現する。価格政策の課題を、経済や消費者の動向などを踏まえて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、自ら考え、表現する。	製品政策と価格政策を理解する。 製品政策に関する課題を発見し、それを踏まえ、製品政策を立案して実施し、評価・改善する。 価格政策について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、価格政策に主体的かつ協働的に取り組む。		○	○	○	10
	定期考查			○	○		1
3 学 期	第7章 チャネル政策 1. チャネル政策の概要 2. チャネルの選択と管理 3. チャネル政策の動向 第8章 プロモーション政策 1. プロモーション政策の概要 2. プロモーションの種類 3. プロモーション政策の動向 【知識及び技能】 チャネル政策とプロモーション政策を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 プロモーション政策の課題を、経済や消費者の動向などを踏まえて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、自ら考え、表現しようとしている。	チャネル政策について企業における事例と関連付けて理解する。 チャネル政策に関する課題を発見する。また、自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、チャネル政策に主体的かつ協働的に取り組む。 プロモーション政策について企業における事例と関連付けて理解する。 プロモーション政策に関する課題を発見し、それを踏まえてプロモーション政策を立案して実施し、評価・改善する。 経済や消費者の動向などを踏まえ、プロモーション政策に主体的かつ協働的に取り組む。	【知識・技能】 小テスト・考查等 【思考・判断・表現】 プリント・問題集・考查等 【主体的に学習に取り組む態度】 出欠・プリント・提出物・授業態度等	○	○	○	10
	【知識及び技能】 チャネル政策とプロモーション政策を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 プロモーション政策の課題を、経済や消費者の動向などを踏まえて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、自ら考え、表現しようとしている。	チャネル政策とプロモーション政策を理解する。 チャネル政策に関する課題を発見し、それを踏まえてプロモーション政策を立案して実施し、評価・改善する。 経済や消費者の動向などを踏まえ、プロモーション政策に主体的かつ協働的に取り組む。		○	○	○	
	定期考查			○	○		合計 70

高等学校 令和7年度（13学年用

ビジネス 科目 ビジネス法規

教 科： ビジネス 科 目： ビジネス法規

単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ ビジネス法規 実教出版

教科 ビジネス の目標： 商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じて、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを旨とする。

【知識及び技能】 商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させる

【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスの意義や役割について理解させる

【学びに向かう力、人間性等】 ビジネスの諸活動を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって行い、経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

科目 ビジネス法規 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ビジネスに関する法規について実務に即して体系的・系統的に理解するようにする。	法的側面からビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として法的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、法規に基づくビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 法の概要 1節 ビジネスにおける法の役割 2節 法の体系と解釈・適用	・ビジネスを適切に行うための法の役割について理解する。 ・法が憲法を最高法規として体系的に存在していること、一般法、特別法、公法、私法など法の分類及び法の解釈と適用の考え方について扱う。 ・権利・義務の概要、権利行使の制限及び物権、債権など財産権の概要について、法規と関連付けて理解する。	・ビジネスを適切に行うための法の役割について理解する。 ・法が憲法を最高法規として体系的に存在していること、一般法、特別法、公法、私法など法の分類及び法の解釈と適用の考え方について自ら学び、法規に基づく適切なビジネスに主体的かつ協働的に取り組んでいる。 ・権利・義務の概要、権利行使の制限及び物権、債権など財産権の概要について、法規と関連付けて見いだしている。 ・特許権、実用新案権、育成者権、回路配置利用権、不正競争防止法による保護、デザインやマークなどに関する知的財産権である意匠権、商標権など知的財産の種類とその権利について、法規と関連付けて見いだしている。	○	○	○	17
	3節 知的財産権						
	定期考査			○	○		1
	第3章 財産権の変動 1節 契約 2節 物の売買 3節 物の貸借	・契約全般について、また雇用契約、売買契約、不動産賃貸契約など企業活動における契約について、法規と関連付けて理解する。 ・契約当事者の権利・義務関係について、企業活動における具体的な事例を用いて、法規と関係付けて理解する。	・企業活動に係る契約全般について、また物の売買、賃貸についての企業における事例と関連付けて見いだしている。 ・企業活動に関する契約全般について、また物の売買、賃貸についての課題などを発見し、法的な根拠に基づいて、その課題への対応策を考案し、評価・改善している。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
2 学 期	第3章 財産権の変動 4節 不法行為 5節 時効 第4章 企業活動と法規 1節 企業活動の主体 2節 株式会社の特徴と機関 3節 資金調達と金融取引 4節 組織再編と清算・再建	・資金の調達や運用と金融取引の現状・課題及び金融に関するセーフティネットについて学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組む。 ・電子記録媒体の概要及び電子資金移動の現状・課題について理解する。 ・組織再編の形態について理解する。 ・日本における企業の組織再編と清算・再建の現状・課題について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組む。 ・競争秩序を確保する意義及びそのための企業活動の制限について、法規と関連付けて理解する。 ・競争秩序の確保の現状・課題について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組む。	・日本における企業の組織再編と清算・再建の現状・課題について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組んでいる。 ・競争秩序を確保する意義及びそのための企業活動の制限について、法規と関連付けて理解している。 ・不法行為や時効など、具体的な事例を用いて、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。 ・企業活動の主体とその商行為の概要について、商法との関連付けて理解している。 ・株式会社の意義、株主の責任、株式の譲渡、資本と経営の分離及び株式会社の機関とその責任について、法規との関連付けて理解している。 ・企業活動に係る法規について、株式会社における事例と関連付けて見いだしている。 ・企業活動に関する課題を発見し、法的な根拠に基づいて、課題への対応策を考案して実施し、評価・改善している。 ・企業活動に係る法規について自ら学び、法規に基づく適切な企業活動に主体的かつ協働的に取り組んでいる。 ・株式と社債の発行、金融機関からの借入及び金融商品取引法の概要について理解している。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
	第5章 企業責任と法規 1節 法令遵守と説明責任 2節 労働者の保護 3節 消費者の保護 4節 情報の保護	・法令遵守（コンプライアンス）と説明責任（アカウンタビリティ）の意義と重要性について学び、具体的な事例と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組む。 ・企業統治（コーポレート・ガバナンス）の意義と重要性について学び、具体的な事例と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組む。	・法令遵守（コンプライアンス）と説明責任（アカウンタビリティ）の意義と重要性について学び、具体的な事例と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組んでいる。 ・企業統治（コーポレート・ガバナンス）の意義と重要性について学び、具体的な事例と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組んでいる。 ・労働三権の概要及び労働三法、労働者派遣法など労働者の権利の保護に関する法規の概要について理解している。				20

・ 評価項目は、授業計画の「評価項目」欄に記載されている。

・ 評価項目は、授業計画の「評価項目」欄に記載されている。

			・労働二権の既成及び労働二権、労働者派遣法など労働者の権利の保護に関する法規の概要について理解する。	・労働時間、休日、休暇、就業規則及び労働災害に関する規定と考え方について理解している。 ・労働者の保護の重要性及び日本における労働者の保護に関する課題について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組んでいる。				
	定期考査				○	○		1
3 学期	第6章 紛争の解決と予防 1節 紛争の解決 2節 紛争の予防	・公証制度の概要、和解、調停及び仲裁の目的、手続、効力並びに民事訴訟制度の概要について、法規と関連付けて理解する。 ・企業における紛争の予防と解決に関する課題について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組む。	・公証制度の概要、和解、調停及び仲裁の目的、手続、効力並びに民事訴訟制度の概要について、法規と関連付けて理解する。 ・企業における紛争の予防と解決に関する課題について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組んでいる。 ・国際的な紛争は国による法制度の違いが一因になっていることについて理解している。					25
	定期考査				○	○		1
								合計 105

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 ビジネス科 科目 簿記

使用教科書：（ 実教出版 新簿記 ）

【学びに向かう力、人間性等】 企業会計に関する法規や基準を適切に運用する力の向上を目指し、自ら学び取り組む態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指すし自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 簿記の基礎 【知識及び技能】 簿記の意味・記帳の重要性を理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 簿記の種類、前提条件などを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 簿記の学習の心がまえを養う。	・簿記の基礎 ・資産・負債・純資産 ・貸借対照表 ・収益と費用 ・損益計算書 ○教科書 問題集 電卓	【知識・技能】 基礎的な知識を身に付けたか。 【思考・判断・表現】 簿記の意義と必要性を考えたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に興味を示し、学習しようとする態度がみられたか。	○	○	○	8
	B 単元…取引と勘定 仕訳と転記 【知識及び技能】 勘定・勘定科目・勘定口座などの意味を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 取引を分解し、勘定に記入する方法を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 企業の取引に関する関心を養う。	・取引と勘定 ・勘定記入のルール ・仕訳と転記 ・仕訳帳と総勘定元帳 ・総勘定元帳の記入方法 ・試算表 ○教科書 問題集 電卓	【知識・技能】 仕訳の手順について理解しているか。 【思考・判断・表現】 仕訳・転記について適切に判断したか。 【主体的に学習に取り組む態度】 企業の取引に対し関心を持ったか。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	C 単元…決算 現金・預金などの取引 【知識及び技能】 決算の重要性について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 決算手続き全体の流れを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 決算がなぜ必要に関心を養う。	・精算表 ・決算とは ・決算の一連の手続き ・決算の本手続き ・決算の報告 ・現金・現金出納帳 ・当座預金・現金出納帳 ・その他の預金 ○教科書 問題集 電卓	【知識・技能】 各種帳票と記帳法を理解したか。 【思考・判断・表現】 記帳に関し適切に判断できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 記帳処理を積極的に進めようとしたか。	○	○	○	10
2 学期	D 単元…商品売買の取引 掛け取引 【知識及び技能】 取引の基本的な内容とその記帳法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 記帳に関して適切に判断する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 記帳処理の学習を積極的に進める力を養う 定期考査	・小口現金・小口現金出納帳 ・分記法・3分法 ・仕入帳・売上帳 ・商品有高帳 ・商品売買損益の計算 ・掛け取引とは ・売掛金・買掛金に関する取引 ○教科書 問題集 電卓	【知識・技能】 各種帳票と記帳法を理解したか。 【思考・判断・表現】 記帳に関し適切に判断できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 記帳処理を積極的に進めようとしたか。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	単元…その他の債権・債務の取引 固定資産の取引 【知識及び技能】 取引に関する基本的内容と記帳法を理解させる。 【思考力、判断力、表現等】 知識と技術を活用して適切に判断させる。 【学びに向かう力、人間性等】 記帳処理の学習を積極的に進める力を養う	・貸付金と借入金 ・手形貸付金と手形借入金 ・前払金と前受金 ・未収入金と未払金 ・立替金と預り金 ・仮払金と借受金 ・受取商品券 ・固定資産とは ・固定資産の取得・売却 ○教科書 問題集 電卓	【知識・技能】 基本的内容と記帳法を理解したか。 【思考・判断・表現】 知識と技術を活用し適切に判断したか。 【主体的に学習に取り組む態度】 記帳処理を積極的に進めようとしたか。	○	○	○	12
	単元…個人企業の資本の取引 販売費と一般管理費 決算整理（その1） 【知識及び技能】 取引に関する基本的内容と記帳法を理解させる。 【思考力、判断力、表現等】 知識と技術を活用して適切に判断させる。 【学びに向かう力、人間性等】 記帳処理の学習を積極的に進める力を養う 定期考査	・資本の追加元入れ ・販売費及び一般管理費 ・決算整理とは ・商品売買に関する勘定の決算整理 ・貸し倒れの見積もり ○教科書 問題集 電卓	【知識・技能】 決算整理の意味・必要性を理解したか。 【思考・判断・表現】 財務諸表を活用し判断できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 決算整理事項について関心をもったか。	○	○	○	13
2 学期	定期考査			○	○		1
	単元名…決算整理（その1） 【知識及び技能】 決算整理の意味・必要性を理解させる。 【思考力、判断力、表現等】 財務諸表を活用し企業の現状を分析できる。 【学びに向かう力、人間性等】 決算整理についての関心を養う。	・定額法による減価償却 ・8桁精算表とは ・8桁精算表の作成の手順 ・帳簿決算とは ・財務諸表の作成 ○教科書 問題集 電卓	【知識・技能】 決算整理の意味・必要性を理解したか。 【思考・判断・表現】 財務諸表を活用し判断できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 決算整理事項に取り組む態度をもったか。	○	○	○	10
	単元名…会計帳簿と帳簿組織 伝票の利用 【知識及び技能】 これまで学んだ諸帳簿の記帳法を理解させる。 【思考力、判断力、表現等】 これまで学んだ取引を適切に処理できる。	・会計帳簿の役割と種類 ・分課制度と帳簿組織 ・証ひょうと伝票 ・3伝票制 ・全商簿記実務検定試験3級受験対策 ○教科書 問題集 電卓	【知識・技能】 これまで学んだ諸帳票を理解できたか。 【思考・判断・表現】 これまで学んだ取引を処理できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 総合問題へ積極的に学習したか。	○	○	○	10

	【学び向かう力、人間性等】 総合問題への学習を積極的に進める力を養う。					
	定期考査					1
3 学 期	単元名…会計ソフトウェアの活用 【知識及び技能】 会計ソフトを活用することによる利点を理解させる。 【思考力、判断力、表現等】 記帳の合理化を達成する方法を考えることができる。 【学び向かう、人間性等】 運用方法について積極的に学ぶ力を養	・会計ソフトウェアとは ・取引データの入力と財務諸表の作成 ・会計ソフトウェアによる伝票の起票 ・会計ソフトウェアによる決算 ・全商簿記実務検定試験3級受験対策 ○教科書 問題集 電卓	【知識・技能】 会計ソフト活用による利点を理解したか。 【思考・判断・表現】 合理化達成方法を考えることができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 運用方法を積極的に学ぼうとしたか。	○	○	○
						20
	定期考査					1
						合計 105

高等学校 令和7年度（2 学年用）

ビジネス 科目 簿記

教科： ビジネス 科目： 簿記

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書： 新簿記（実教出版）

教科 ビジネス の目標： 商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】 商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させる

【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスの意義や役割について理解させる

【学びに向かう力、人間性等】 ビジネスの諸活動を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって行い、経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

科目 簿記 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
簿記の定義、簿記の目的、簿記の種類、簿記の歴史、簿記の前提条件について、その知識・技術を身に付けている。	簿記の定義、簿記の目的、簿記の種類、簿記の歴史、簿記の前提条件について、思考・判断し、それを表現する仕方を身に付けている。	自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1編 取引の記帳（Ⅰ）	・現金に関する記帳方法と現金出納帳の記帳方法について理解させる。 ・現金過不足の処理法を理解させる。 ・当座預金勘定の記帳方法と当座預金出納帳の記帳方法について理解させる。 ・小口現金のシステムを理解させ、その記帳方法と記帳の習熟をはか	・その他の債権・債務の取引等に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。 ・その他の債権・債務に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。 ・その他の債権・債務の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。	○	○	○	5
	第2編 会計帳簿と帳簿組織	・いままで学んだ帳簿の種類をあげ、分類させてみる。 ・分課制度と帳簿組織との関連について理解をはかる。		○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	第3編 取引の記帳（Ⅱ）	・手形の裏書譲渡・割引・書き換え・不渡りの意味を明らかにし、その記帳方法を理解させる。 ・営業外受取手形と営業外支払手形の意味を明らかにし、その記帳方法を理解させる。	・手形の裏書譲渡・割引・書き換え、不渡手形等の取引に関する基本的な内容と記帳法を理解したか。 ・営業外受取手形と営業外支払手形の取引に関する基本的な内容と記帳法を理解したか。 ・特殊な手形の取引について自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。 ・なぜ商業手形と金融手形は勘定科目を区別しなければならないのかに関心をもち、自ら調べる態度を示したか。	○	○	○	10
	第4編 本支店会計	・支店会計の独立の意味を理解させる。 ・支店会計が独立している場合の本支店間の取引、支店相互間の取引の記帳方法を理解させる。 ・本支店合併の損益計算書・貸借対照表の作り方を理解させ、その作成に習熟させる。	・本支店間の取引、支店相互間の取引などに関する基本的な内容と記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。 ・本支店の合併貸借対照表と合併損益計算書について基本的な内容と記帳法を理解し、作成法を身に付けたか。 ・本支店間の取引、支店相互間の取引について、その記録・計算・整理に関する問題の解決を目指して、自らの考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身に付けたか。 ・本支店の貸借対照表と損益計算書の合併の手続きとその作成法に関心をもち、進んで取り組み、作成した貸借対照表と損益計算書からビジネスの諸活動を理解しようとしているか。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2	第5編 決算	・決算整理の意味とその必要性を理解させる。 ・3分法による商品売買に関する勘定の整理、貸し倒れの見積もり、減価償却の処理法を理解させ、その記帳に習熟させる。	・費用・収益の繰り延べと見越し、切手・はがきなどの未使用分の処理、有価証券の評価、間接法による減価償却の記帳などに関する基礎的・基本的な技術を身につけたか。 ・費用・収益の繰り延べ・見越しなどを含んだ財務諸表について自らの思考を深め、適切に作成できているか。 ・費用・収益の繰り延べ・見越しなどを決算整理として行う理由に関心をもち、自ら進んで調べる態度を示したか。				10
	定期考査			○	○		1

学 期	第6編 株式会社の記帳 第7編 その他の取引	・株式会社の設立と株式の発行時の記帳方法を理解させる。 ・純利益の計上と剰余金の配当および処分に関する取引の記帳方法を理解させる。 ・法人税・住民税・事業税の記帳方法を理解させる。	株式会社の設立と株式の発行について、基本的な内容を理解したか。 ・株式会社の純利益の計上・剰余金の配当と処分・税金の会計処理について、基本的な内容と記帳方法を理解したか。 ・株式会社の財務諸表の作成について、自らの思考を深め、適切に作成しているか。 ・個人企業と株式会社の会計処理や財務諸表の違いについて関心を持ち、自ら進んで調べる態度を示しているか。				10
	定期考査						1
3 学 期	第8編 (発展学習) 最近の実務に広がる取引全商検定試験問題	・クレジット売掛金と電子記録債権・電子記録債務の意味を明らかにし、理解させる。	・クレジット売掛金と電子記録債権・電子記録債務の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解したか。 ・クレジット売掛金と電子記録債権・電子記録債務に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。 ・最近の実務に広がる取引に関心を高め、日常生活で行っている商取引について、どのような仕訳で表すか自ら進んで調べる態度を示したか。				10
	定期考査			○	○		1
							合計 70

高等学校 令和7年度（1 学年用） 教科 産業（ビジネス） 科目 起業家精神と職業生活

教 科： 産業（ビジネス） 科 目： 起業家精神と職業生活 単位数： 1 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ 商業スタートノート ビジネス基礎準拠問題集 事例探求ワークブックビジネス編 （実教出版） ）

教科 産業（ビジネス） の目標：

【知 識 及 び 技 能】ビジネスの基礎的知識の定着と技術の修得を図りながら、ビジネスの実践力を養っていく

【思考力、判断力、表現力等】ビジネス的な思考で課題に取り組み、適切な判断で課題の解決を図るとともに自らの考えをうまく表現する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】積極的に知識や技術の修得に励みながら向上しようとする姿勢と、周りとの協調して課題解決を図っていく人間性を養う

科目 起業家精神と職業生活 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ビジネスの基礎的・基本的な知識・技術の修得を身に付ける	創造性豊かで斬新な発想を創出する能力を養うことと思考力、判断力、表現力を身に付ける	自ら学ぶ意欲、課題発見力、課題解決力を養い、社会人として資質を身に付ける

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1 ビジネスで用いる基礎的計算 (1) 数字・記号の書き方 (2) 四則演算 (3) 単位の計算 (4) 比・割合の計算 (5) 商品売買の計算 2 電卓操作 (1) 電卓の使い方 (2) 電卓演習 3 言語・用語の練習 (1) 敬語 (2) ビジネスでの基礎的用語 (3) アルファベットの書き方 4 売買取引とビジネス計算の基礎 (1) 売買取引の手順 (2) 売買に関する計算の基礎 (3) 売買に関する計算の応用	・ 商業スタートノートを用いて基礎的・基本的な知識・技術の修得 ・ ビジネス基礎準拠問題集を用いて基礎的・基本的な知識・技術の修得	【知識・技能】 小テスト・考査等 【思考・判断・表現】 プリント・問題集・考査等 【学びに向かう力、人間性等】 出欠・プリント・提出物・授業態度等	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	5 経済の基礎 (1) 経済のしくみとビジネス 6 経済活動と流通 (1) 経済活動と流通 (2) 流通の意義と役割 7 ビジネスの担い手 (1) ものとサービスの生産者 (2) 様々な流通業者 (3) 企業の形態と経営組織 8 ビジネスとコミュニケーション (1) コミュニケーション (2) ビジスマナー	・ ビジネス基礎準拠問題集を用いて基礎的・基本的な知識・技術の修得 ・ ビジネス上での課題発見力・解決力を養うとともに社会人としての資質を身に付ける ・ 一人1台端末の活用	【知識・技能】 小テスト・考査等 【思考・判断・表現】 プリント・問題集・考査等 【学びに向かう力、人間性等】 出欠・プリント・提出物・授業態度等	○	○	○	12
2 学 期	定期考査			○	○		1
	9 ビジネス事例と課題への取り組み (1) 各種ビジネス事例	・ 事例探求ワークブックビジネス編を用いてビジネスの様々な事例を調べ、発想力・思考力等を身に付ける ・ 一人1台端末の活用	【知識・技能】 小テスト・考査等 【思考・判断・表現】 プリント・問題集・考査等 【学びに向かう力、人間性等】 出欠・プリント・提出物・授業態度等	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
3 学 期							合計
							33

年間授業計画 様式例

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 産業（ビジネス） 科目 マネジメント演習

教 科： 産業（ビジネス） 科 目： マネジメント演習 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ マネジメント演習テキスト（自校作成） ）

教科 産業（ビジネス） の目標：

【知 識 及 び 技 能】簿記の実践的能力の醸成しつつ、会社設立の知識や商取引のしくみを理解する

【思考力、判断力、表現力等】営業日誌の記入しながら、業務報告の方法を会得する

【学びに向かう力、人間性等】積極的に授業に取り組む姿勢を養うとともに、ビジネスシーンを意識した身だしなみや言葉遣いを身に付ける

科目 マネジメント演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
1, 2年生で学んだ簿記、マーケティングの知識を活用し、模擬取引を通して実践的技能を身に付けるとともに、企業経営のしくみを理解する。	模擬取引を通して、利潤をあげるためにはどのような取引を進めていくか思考しながら、経営判断をできる力を養うとともに、取引相手とのコミュニケーション力も身に付けていく。	積極的に模擬取引を進め、知識や技能を身に付けようとする姿勢と、同じ会社で一緒に進めていく仲間と協力し合う姿勢を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1 授業の進め方、授業用具の準備 2 オフィスのコミュニケーション (1)メモのとり方 (2)オフィスの敬語 (3)ビジネスマナーの基本 (4)演習 【知識及び技能】 ビジネスマナー、身だしなみ 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーション能力 【学びに向かう力、人間性等】 授業に取り組む姿勢の醸成	・演習用ソフトの使い方 ・テキスト、ビジネスマナープリント 伝票及び各種帳簿類	【知識・技能】 ・伝票、各種帳票の作成における正確さ、丁寧さPC入力との齟齬なしを評価 【思考・判断・表現】 ビジネスコミュニケーションプリント、営業日誌の内容を評価 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出欠状況、授業態度、身だしなみ等による評価	○	○	○	9
	3 ビジネスのコミュニケーション (1)電話の応対(2)見積依頼書の作成 (3)商品発送手続き (4)代金決済 4 記帳練習 (1)文字の記入・訂正・押印 (2)帳簿の作成 (3)領収証・小切手・封書の作成 【知識及び技能】 実践的簿記力、各種帳票類作成 【思考力、判断力、表現力等】 丁寧な帳票類の作成 【学びに向かう力、人間性等】 授業に取り組む姿勢	・演習用ソフトの使い方 ・テキスト、ビジネスマナープリント 伝票及び各種帳簿類	【知識・技能】 ・伝票、各種帳票の作成における正確さ、丁寧さPC入力との齟齬なしを評価 【思考・判断・表現】 ビジネスコミュニケーションプリント、営業日誌の内容を評価 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出欠状況、授業態度、身だしなみ等による評価	○	○	○	9
	5 取引演習 (1)株式会社の設立 (2)開業処理 (3)取引演習 (4)模擬取引演習（指定取引） (5)パソコンシステムの活用 【知識及び技能】 実践的簿記力 各種帳票類作成 【思考力、判断力、表現力等】 丁寧な帳票類の作成 【学びに向かう力、人間性等】 授業に取り組む姿勢	・演習用ソフトの使い方 ・テキスト、ビジネスマナープリント 伝票及び各種帳簿類	【知識・技能】 ・伝票、各種帳票の作成における正確さ、丁寧さPC入力との齟齬なしを評価 【思考・判断・表現】 ビジネスコミュニケーションプリント、営業日誌の内容を評価 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出欠状況、授業態度、身だしなみ等による評価	○	○	○	27
	定期考査		各種帳票類作成、ビジネスマナーの理解度	○	○		1
2 学 期	5 取引演習 (6)1学期の復習・確認 (7)利益目標・仕入計画・販売計画 (8)模擬取引（自主取引－1） (9)月末報告書の作成・提出 (10)模擬取引（自主取引－2）	・演習用ソフトの使い方 ・テキスト、ビジネスマナープリント 伝票及び各種帳簿類	【知識・技能】 ・伝票、各種帳票の作成における正確さ、丁寧さPC入力との齟齬なしを評価 【思考・判断・表現】 ビジネスコミュニケーションプリント、営業日誌の内容を評価 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出欠状況、授業態度、身だしなみ等による評価	○	○	○	42
	定期考査		各種帳票類作成、ビジネスマナーの理解度	○	○		1
3 学 期	5 取引演習 (11)1・2学期の復習・確認 (12)模擬取引（自主取引－3） 6 決算 (1)帳票の整理 (2)決算 (3)報告書の作成 7 まとめと発表	・演習用ソフトの使い方 ・テキスト、ビジネスマナープリント 伝票及び各種帳簿類	【知識・技能】 ・伝票、各種帳票の作成における正確さ、丁寧さPC入力との齟齬なしを評価 ・決算書類の正確さと営業利益 【思考・判断・表現】 ビジネスコミュニケーションプリント、営業日誌の内容を評価 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出欠状況、授業態度、身だしなみ等による評価	○	○	○	16
							合計 105

高等学校 令和7年度（2 学年用） 教科 情報

科 情報Ⅰ

教科： 情報

科目： 情報Ⅰ

単位： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ 図説 情報Ⅰ ）

教科 情報

の目標：

- 【知識及び技能】 情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。
- 【思考力、判断力、表現力等】 事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

科目 情報Ⅰ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・情報や情報メディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けている。 ・情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解している。 ・情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解している。	・目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えている。 ・情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考察している。 ・情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察している。	・情報社会における問題の発見・解決に、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。また、自己調整しながら、解決する過程や解決案を自ら評価し改善しようとしている。 ・情報モラルに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元 序章 情報社会と私たち 【知識及び技能】 ・IoT、人工知能（AI）の意味とその活用について理解する ・情報の信憑性、信頼性の意味を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報化の光と影について理解した上で、ネット依存など個人に与えている影響に対して考え、適切な判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報社会における様々な問題点を理解した上で、情報モラルについて考え、自らの行動を振り返り、改善しようとする。	・情報や知識、IoT、人工知能（AI）について学ぶ。 ・情報化による利便性（情報化の「光」）と危険性（情報化の「影」）について学ぶ。 ・匿名性の特徴、ネットワーク上のルールとマナー、情報の受信者・発信者としてのモラルと責任について学ぶ。	【知識】：考查・小テスト等 【思考】：考查・プリント等 【態度】：プリント・提出物・出欠等	○	○	○	5
	B 単元 1 章 情報社会と問題解決 【知識及び技能】 ・問題の構成要素の把握や制約条件の整理など、問題の明確化について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題解決の身近な事例に対し、問題の構成要素の把握や制約条件の整理を行い、目標の設定を考えて表で表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・大切な情報を守るための暗号の利用など、情報セキュリティ技術に興味・関心をもって取り組んでいる。	・問題解決の意味を理解し、問題解決の流れについて学ぶ。 ・表計算ソフトによる情報を数値化したり、視覚化する方法について学ぶ。 ・個人情報やプライバシー、個人情報の保護や管理と関連権利（プライバシー権、肖像権、パブリシティ権）について学ぶ。 ・知的財産権の概念（知的財産権の分類、産業財産権や著作権の構成）について学ぶ。	【知識】：考查・小テスト等 【思考】：考查・プリント等 【態度】：プリント・提出物・出欠等	○	○	○	10
	C 単元 2 章 コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 ・メディアの機能と特性と分類について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・インターネットを利用したコミュニケーションについて、対面の場合と比較し、気を付けるべき点について説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・わかりやすい報告書やレポートを作成するために、文書の作成やレイアウトについて自ら工夫をし、粘り強く取り組む。	・コミュニケーションの定義、手段、形態について学ぶ。 ・ネットワーク上のコミュニケーションのメリットとデメリット（即時性、利便性、保存性、匿名性）について学ぶ。 ・デザインの基本、色彩、ユニバーサルデザイン、アクセシビリティについて学ぶ。 ・プレゼンテーションにおけるコンテンツの作成について学ぶ。	【知識】：考查・小テスト等 【思考】：考查・プリント等 【態度】：プリント・提出物・出欠等	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学 期	D 単元 3 章 情報とコンピュータ 【知識及び技能】 ・アナログとデジタルのそれぞれ特徴や違いを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・2進数、10進数、16進数を用いて、目的に応じて適切に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ハードウェアとソフトウェアの学習に、興味・関心をもって取り組む。	・アナログ・デジタル・デジタルデータの特徴（情報の正確な再現・情報の容易な加工）について学ぶ。 ・コンピュータ内部での数値（2進数、16進数）の表現について学ぶ。 ・ハードウェアとソフトウェアの違い、コンピュータ本体の働き（五大装置）・OSとアプリケーションソフトの関係について学ぶ。	【知識】：考查・小テスト等 【思考】：考查・プリント等 【態度】：プリント・提出物・出欠等	○	○	○	12
	E 単元 4 章 アルゴリズムとプログラミング 【知識及び技能】 ・アルゴリズムの基本構造をフローチャートで作成する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・プログラミング言語を使って、順次構造と繰り返し構造を利用した画像表示のプログラムを作成する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・例題や「並べ替え」、「じゃんけんゲーム」など作成したプログラムについて、自己評価および相互評価を行い、効率的なプログラムの改善に取り組む。	・アルゴリズムの基本構造（順次、選択、繰り返し）、プログラム構造について学ぶ。 ・プログラムにおける変数の役割について学ぶ。 ・配列やリストを使って効率よく数値を処理できるプログラムを作る。	【知識】：考查・小テスト等 【思考】：考查・プリント等 【態度】：プリント・提出物・出欠等	○	○	○	10

3 学 期	F 単元 5章モデル化とデータの活用 【知識及び技能】 ・モデル化の目的や手順，モデルの分類方法について理解する。 ・シミュレーションの手順や注意点，シミュレーションツールについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・モデルの分類（表現形式による分類，対象による分類）に関し，身のまわりの具体的な事例で説明する。 ・シミュレーションの手順について，具体的な事例で説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・問題解決のためのデータの分析をする。 ・収集したデータなどを表計算ソフトウェアを利用して統計処理を行い，グラフ化などをする。	・モデル化とシミュレーションの手順や分類について学ぶ。 ・データの種類と，データの活用の手順や方法について学ぶ。	【知識】：考查・小テスト等 【思考】：考查・プリント等 【態度】：プリント・提出物・出欠等	○	○	○	10
	G 単元 5章モデル化とデータの活用 【知識及び技能】 ・インターネット通信の規約であるTCP/IPやパケットの流れについて理解している。 ・IPアドレス，ドメイン名，URL，DHCPサーバ，HTMLなどの意味や働きについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・インターネットのプロトコル（TCP/IP）について，各階層の役割について，電話などの例をあげて説明する。 ・データベースの活用事例やデータモデルの違いについて，身近な例をあげて説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・インターネット活用について，個人あるいはグループで調べるなどの学習活動を行い，問題の解決に取り組む。 ・安全に情報を送受信する仕組みの理解のもとに，情報セキュリティに対する対策を行い，改善を試みる。	・インターネットに接続するための機器と通信の規則について学ぶ。 ・Webページや電子メールの仕組みについて学ぶ。 ・生活に欠かせない情報システムについて学ぶ。 ・データベースの機能と役割・活用事例について学ぶ。 ・情報の安全を守るために，組織が行っている情報セキュリティ対策について学ぶ。	【知識】：考查・小テスト等 【思考】：考查・プリント等 【態度】：プリント・提出物・出欠等	○	○	○	9
							合計
							70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 産業科 科目 情報基礎Ⅰ

教 科： 産業科 科 目： 情報基礎Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ 自校作成テキスト、日本語ワープロ検定試験模擬問題集、情報処理技能検定試験表計算模擬問題集 ）

教科 産業科 の目標：

- 【知識及び技能】
- タイピング技術がある。文書作成能力がある。Excel関数が扱える。
- 【思考力、判断力、表現力等】
- タイピング技術がある。文書作成能力がある。Excel関数が扱える。
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 授業に向かう姿勢があるか。

科目 情報基礎Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
PCを道具のように扱うことができる	検定3級以上の資格を有している	授業に向かう態度、姿勢があるか

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元「日本語ワープロ」 【知識及び技能】 日本語ワープロの基本操作 【思考力、判断力、表現力等】 日本語ワープロの基本活用 【学びに向かう力、人間性等】 授業に向かう態度があるか	・教室の使い方と授業の進め方について理解し、授業へ主体的に参加する。 ・教具の扱い方について理解し、授業においての活用を促す。 ・文字入力システムと日本語ワードプロセッサの関わりについて理解する。 ・日本語ワードプロセッサの編集機能について理解する。	【知識及び技能】 日本語ワープロの基本操作ができています 【思考力、判断力、表現力等】 日本語ワープロの基本活用ができています 【学びに向かう力、人間性等】 授業に向かう態度がある	○	○	○	20
	「日本語ワープロ検定」	日本情報処理検定日本語ワープロ検定に準じて実施		○	○	○	2
2 学 期	A 単元「日本語ワープロ」 【知識及び技能】 日本語ワープロの基本操作 【思考力、判断力、表現力等】 日本語ワープロの基本活用 【学びに向かう力、人間性等】 授業に向かう態度があるか	・文字入力システムと日本語ワードプロセッサの関わりについて理解する。 ・日本語ワードプロセッサの編集機能について理解する。	【知識及び技能】 日本語ワープロの基本操作ができています 【思考力、判断力、表現力等】 日本語ワープロの基本活用ができています 【学びに向かう力、人間性等】 授業に向かう態度がある	○	○	○	16
	「日本語ワープロ検定」	日本情報処理検定日本語ワープロ検定に準じて実施		○	○	○	2
	B 単元「表計算」 【知識及び技能】 表計算ソフトの基本操作 【思考力、判断力、表現力等】 表計算ソフトの基本活用 【学びに向かう力、人間性等】 授業に向かう態度があるか	・表計算アプリケーションの使い方を理解する。 ・表計算アプリケーションの関数機能について理解する。	【知識及び技能】 表計算ソフトの基本操作ができています 【思考力、判断力、表現力等】 表計算ソフトの基本活用ができています 【学びに向かう力、人間性等】 授業に向かう態度がある	○	○	○	14
	日本語ワープロ検定 表計算検定	日本情報処理検定日本語ワープロ検定・表計算検定に準じて実施		○	○	○	2
3 学 期	B 単元「表計算」 【知識及び技能】 表計算ソフトの基本操作 【思考力、判断力、表現力等】 表計算ソフトの基本活用 【学びに向かう力、人間性等】 授業に向かう態度があるか	・表計算アプリケーションの使い方を理解する。 ・表計算アプリケーションの関数機能について理解する。	【知識及び技能】 表計算ソフトの基本操作ができています 【思考力、判断力、表現力等】 表計算ソフトの基本活用ができています 【学びに向かう力、人間性等】 授業に向かう態度がある	○	○	○	12
	日本語ワープロ検定 表計算検定	日本情報処理検定日本語ワープロ検定・表計算検定に準じて実施					2
							合計 70

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 産業科 科目 情報演習

教 科： 産業科 科 目： 情報演習 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ 自校作成テキスト ）

教科 産業科 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】情報リテラシーの向上
- 【思考力、判断力、表現力等】パソコンを使って情報の伝え方を習得する
- 【学びに向かう力、人間性等】授業に向かう姿勢があるか。主体的に学び技術の習得に取り組む姿勢があるか。

科目 情報演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
定期考査で判断 授業内の課題の取り組み 課題を理解して自主的に取り組んでいるか	課題の取り組み、オリジナル性があるか ノートの提出、書き込み、オリジナル性があるか	授業に向かう態度、姿勢があるか 課題の取り組み状況 ノートの書き込み状況

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元「webページの成り立ち」 【知識及び技能】 WEBページを作成できる 【思考力、判断力、表現力等】 オリジナルのWEBページを作成できる HTMLの成り立ちを理解してる 【学びに向かう力、人間性等】 授業に向かう姿勢があるか ノートの書き込み状況	・教室の使い方と授業の進め方について理解し、授業へ主体的に参加する。 ・HTMLの成り立ちを理解する ・WEBページの作成編集機能について理解する。	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	16
	B 単元「インターネットの仕組み」 【知識及び技能】 インターネットの仕組みを理解し、検索することができる 【思考力、判断力、表現力等】 インターネットの閲覧ができ、正しい使い方ができる 【学びに向かう力、人間性等】 授業に向かう姿勢があるか ノートに書き込み、理解しているか	・URLの仕組みを理解する。 ・IPアドレスとドメインの繋がりを理解する ・コンピュータの仕組みを理解する	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10
	定期考査		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】	○	○		1
2 学 期	C 単元「プログラミングの基礎」 【知識及び技能】 プログラミングの基礎を習得する 【思考力、判断力、表現力等】 プログラミングを自発的に考え、問題に解決できる 【学びに向かう力、人間性等】 授業に向かう姿勢があるか ノートに書き込み、理解しているか	・アナログとデジタルの違いを理解する ・プログラムの基本を理解し、応用的に使える ・Python言語の特徴を理解し、簡単なプログラムを書くことができる	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	12
	D 単元「商品流通の基礎」 【知識及び技能】 バーコードの仕組みを理解する QRコードの仕組みを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 QRコードの構造の名称を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 授業に向かう姿勢があるか ノートに書き込み、理解しているか	・1次元バーコードの数字の意味を理解する ・1次元バーコードが世界統一規格である理解を深める ・2次元バーコードの歴史を理解し今後の発展を自分なりの意見をまとめられる	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	16
	定期考査		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】	○	○		1
	E 単元「データベースの基礎」 【知識及び技能】 POSシステムを理解する データベースの基礎・基本を習得する 【思考力、判断力、表現力等】 データベースの種類を理解し適した場所での利用が選択できる 【学びに向かう力、人間性等】 授業に向かう姿勢があるか ノートに書き込み、理解しているか	・POSシステムからデータベースの構図を理解する ・DBMSのについての特徴と利点を理解する ・RDBの基本を理解する	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	13
	定期考査		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】	○	○		1
							合計
							70

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前半・ 後半	オリエンテーション	・指導事項 産業技術基礎について理解する。	【知識・技能】 ものづくりと伝統工芸の基礎的な知識と技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 ものづくりと伝統工芸の基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ものづくりと伝統工芸について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組み、積極的に学ぶ態度を身につけている。	○	○	○	3
	レーザー加工／金属加工 【知識及び技能】 基礎技術の習得と基礎技能向上 【思考力、判断力、表現力等】 機器と工具の取り扱い方の理解と使用用途に合わせた判断 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学ぶ態度	・指導事項 レーザー加工機の安全指導と取り扱い方について理解する。 キーホルダーの製作 切削加工機の安全指導と取り扱い方について理解する。 文鎮の製作		○	○	○	17
	製図／電気電子工作 【知識及び技能】 製図・電子工作の基礎知識の向上 【思考力、判断力、表現力等】 機器の取り扱いを理解できるか 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学ぶ態度	・指導事項 製図、文字、三角法について学習させる。 等角投影図、展開図について学習させる。 回路設計と電子部品について学習させる。		○	○	○	17
	クラフト／染色 【知識及び技能】 基礎技術の習得と基礎技能向上 【思考力、判断力、表現力等】 工具の取り扱い方の理解と使用用途に合わせた判断 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学ぶ態度	・指導事項 伝統工芸の技法を学ぶ。 錫のスプーン製作 不織布とステンシルシートによる染織製作		○	○	○	17
	陶芸／ガラス 【知識及び技能】 基礎的な知識および技能の習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 アイデアを考え、材料の特性を判断して作品に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 興味関心を持ち、主体的に実習に取り組む態度を身に付ける。	・指導項目 【陶芸】 手捻りによる小作品製作 陶芸の歴史を調べ理解する。 【ガラス】 バーナーワークによるトンボ制作 安全指導、材料や道具の取り扱い		○	○	○	17
	基礎デザイン 【知識及び技能】 オリジナルのデザインができたか 【思考力、判断力、表現力等】 パターンデザインを理解したか 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組んだか	・指導項目 著作権を理解させる 色彩の基本を理解させる パターンデザインを理解させる		○	○	○	17
	木工基礎 【知識及び技能】 鋸・墨付け・さしがね・鉋 【思考力、判断力、表現力等】 道具の知識・使用方法・加工仕上 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学ぶ態度と作業姿勢	・指導項目 鋸・さしがねの使い方・知識・使用方法の基礎を理解させる。 墨付け「矩巻き」と鋸の使い方を、横引き鋸の練習を通して理解させる。鍋敷きの墨付け・加工を通して、鋸・鑿・さしがねの技能習得を目指す。		○	○	○	17
						合計	
						105	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前半・後半	オリエンテーション	・指導事項 産業実習について理解する。	【知識・技能】 各分野について基礎的な知識と技術を身につけ、適切に処理する技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 各分野について基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各分野について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組み、積極的に学ぶ態度を身につけている。	○	○	○	1
	ものづくり／ロボット工作 【知識及び技能】 プログラミングについて理解し、その手順に従った操作ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ブロック型ロボットの製造方法を理解し、ロボットの製造や制御方法を理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的・協働的に学習に取り組む。	・指導事項 プログラミングとEV3プログラミングについて ロボットの製作方法について		○	○	○	20
	ものづくり／パッケージデザイン 【知識及び技能】 パッケージが正確にできたか 【思考力、判断力、表現力等】 オリジナルのデザインができたか 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組んでいるか	・指導事項 パッケージの三大要素を理解させる。 キャラメル型とアメリカンロック型を理解させる。 イラストレータとプロッターの使い方を理解させる。		○	○	○	21
	ものづくり／レーザー加工 【知識及び技能】 ソフトウェアや加工機を適切に操作できる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の性質に合ったデザインを行うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 制作に意欲的に取り組んでいる。	・指導事項 Illustratorの操作 レーザー加工の特性 下駄ストラップの制作 ・教材 自作プリント		○	○	○	21
	ものづくり／製図 【知識及び技能】 基礎製図について理解したか。 【思考力、判断力、表現力等】 図面作品の製図として正確に判断し描くことができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 制作に意欲的に取り組んでいるか。	・指導事項 文字、記号、数字、ローマ字の基本的な書き方 線投影図・等角図について 第三角法（正面図・平面図・右側面図）について 等角図法（立体図）について		○	○	○	21
	ものづくり／食品加工 【知識及び技能】 食品衛生について理解し、その手順に従った行動ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 食品の製造方法を理解し、器具・装置の使用方法を習得し、一定の品質の食品を製造することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的・協働的に学習に取り組む。	・指導事項 食品衛生について カップケーキの製造方法 ベーグルパンの製造方法 パン生地の調製方法 バターロールの製造方法 食パンの製造方法 ピザまんの製造方法 報告書の作成について ・教材 自作テキスト		○	○	○	21

